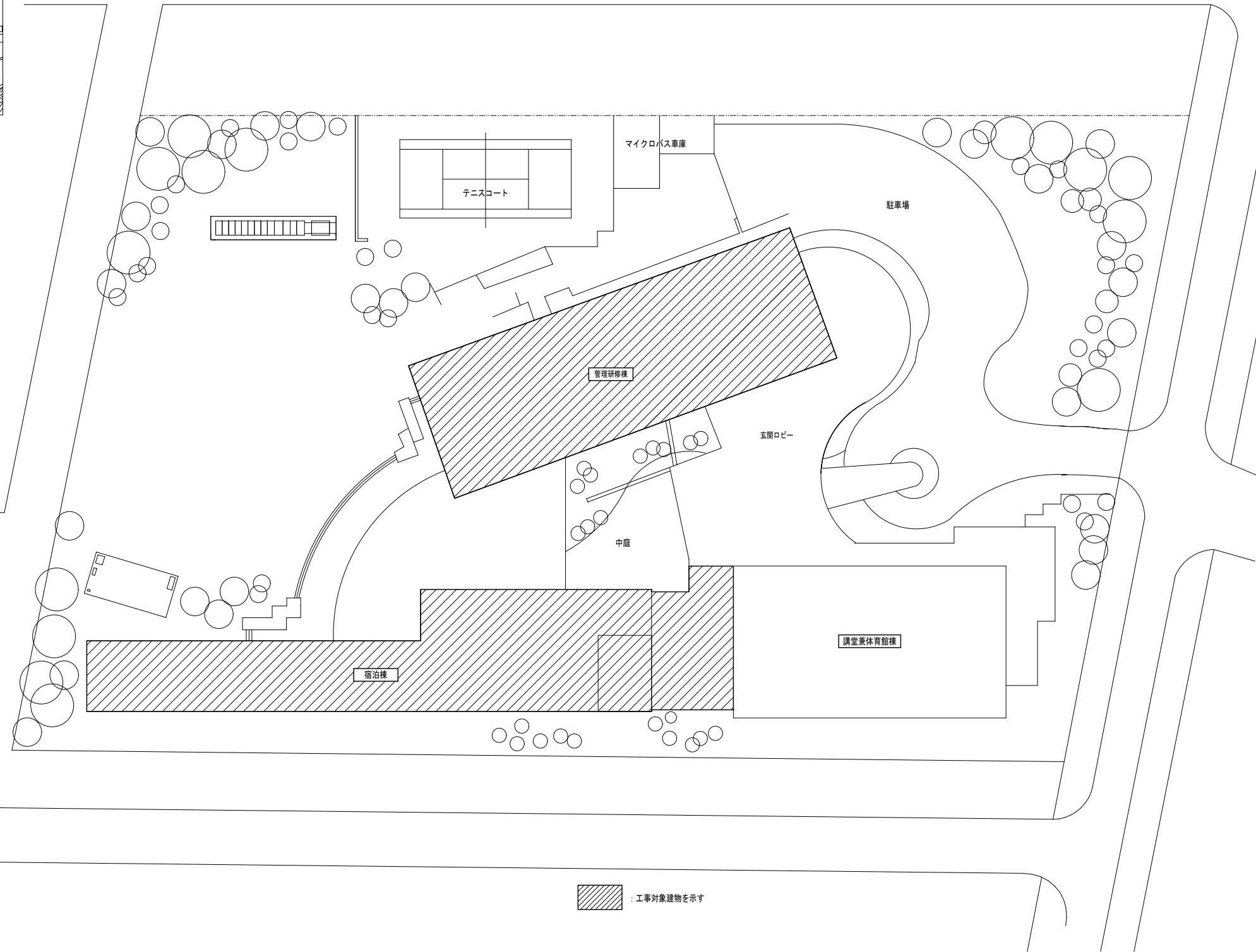
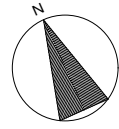
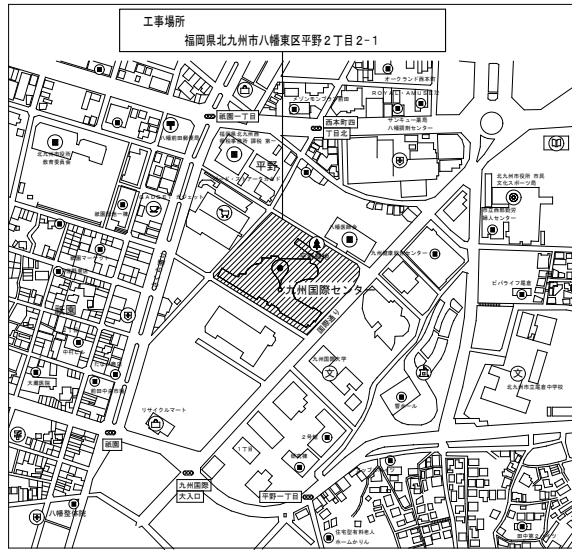


# 九州センター空調設備更新工事

図面リスト					
図面番号	図面名	縮尺	図面番号	図面名	縮尺
共-00	表紙・図面リスト	—	A-01	【宿泊棟】天井改修 1階平面図 (改修後)・(撤去)	A1:1/100 A3:1/200
共-01	全体 配置図・案内図	A1:1/300 A3:1/600	A-02	【管理研修棟】天井改修 1階平面図 (改修後)・(撤去)	A1:1/100 A3:1/200
共-02	管理研修棟 建物断面図	A1:1/50 A3:1/100			
共-03	宿泊棟 建物断面図	A1:1/50 A3:1/100	E-01	電気工事特記事項	—
			E-02	【管理研修棟】動力設備(空調電源) 1階平面図 (改修後)	A1:1/100 A3:1/200
M-01	機械工事特記事項(1)	—	E-03	【宿泊棟】動力設備(空調電源) 1階平面図 (改修後)	A1:1/100 A3:1/200
M-02	機械工事特記事項(2)	—	E-04	【宿泊棟】分電盤結線図 (改修後)	—
M-03	【管理研修棟・宿泊棟】空調設備 機器明細表 (改修後)	—	E-05	【管理研修棟】動力設備(空調電源) 1階平面図 (撤去)	A1:1/100 A3:1/200
M-04	【管理研修棟・宿泊棟】空調設備 配管系統図 (改修後)	—	E-06	【宿泊棟】動力設備(空調電源) 1階平面図 (撤去)	A1:1/100 A3:1/200
M-05	【宿泊棟】空調設備 1階平面図(配管) (改修後)	A1:1/100 A3:1/200	E-07	【宿泊棟】分電盤結線図 (撤去)	—
M-06	【宿泊棟】空調設備 1階平面図(ダクト) (改修後)	A1:1/100 A3:1/200			
M-07	【宿泊棟】自動制御設備 1階平面図 (改修後)	A1:1/100 A3:1/200			
M-08	【宿泊棟】空調設備 1階機械室詳細図 (改修後)	A1:1/50 A3:1/100			
M-09	【管理研修棟】空調設備 1階平面図 (改修後)	A1:1/100 A3:1/200			
M-10	【管理研修棟】自動制御設備 1階平面図 (改修後)	A1:1/100 A3:1/200			
M-11	【管理研修棟・宿泊棟】空調設備 機器明細表 (撤去)	—			
M-12	【管理研修棟・宿泊棟】空調設備 配管系統図 (撤去)	—			
M-13	【宿泊棟】空調設備 1階平面図(配管) (撤去)	A1:1/100 A3:1/200			
M-14	【宿泊棟】空調設備 1階平面図(ダクト) (撤去)	A1:1/100 A3:1/200			
M-15	【宿泊棟】空調設備 1階機械室詳細図 (撤去)	A1:1/50 A3:1/100			
M-16	【管理研修棟】空調設備 1階平面図 (撤去)	—			

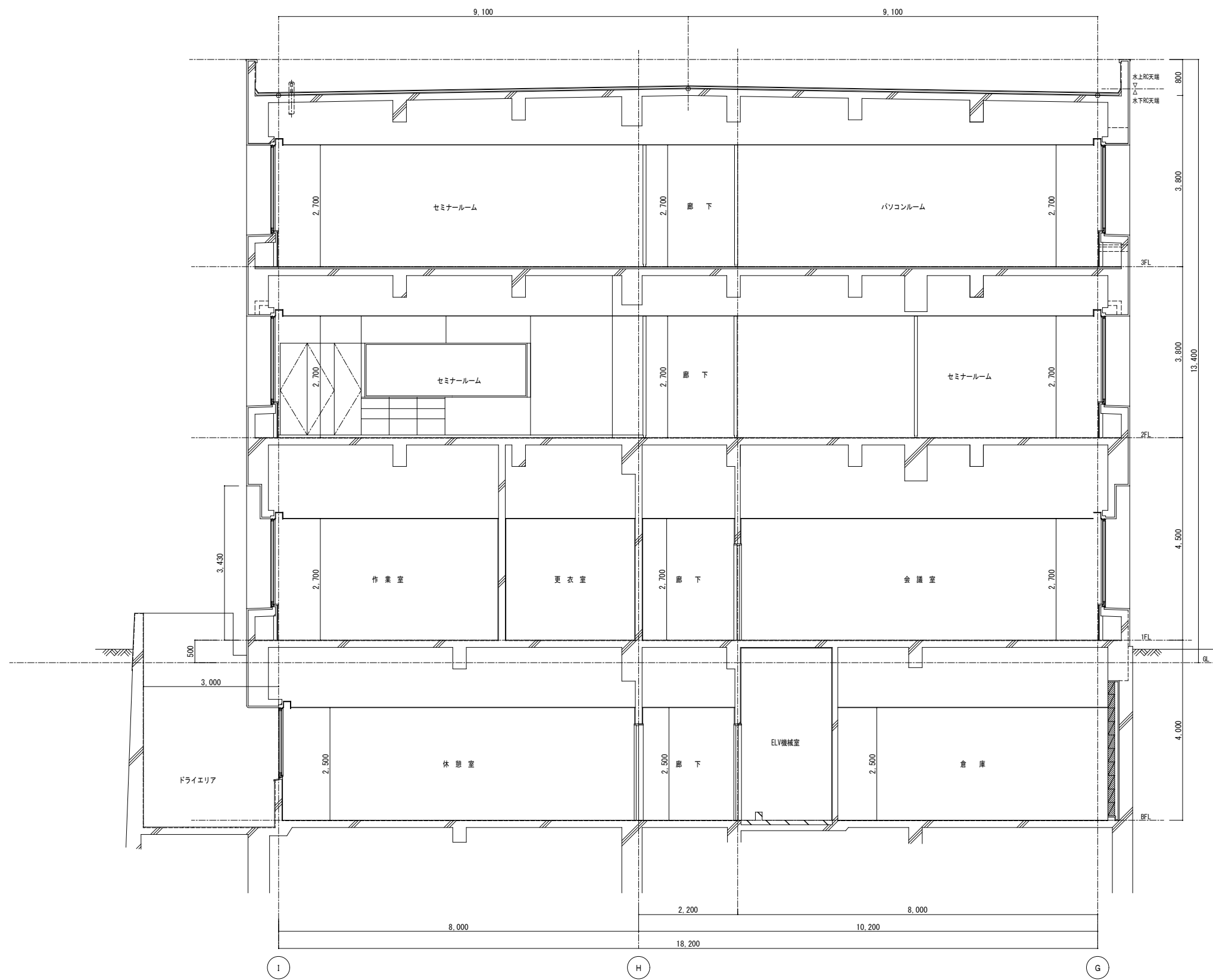
受託者名	(株)総合設備コンサルタント 九州事務所			図面番号	共-00
業務完了年月日	令和 2年 月 日	工事名	九州センター空調設備更新工事	縮尺	—
管理技術者	技術者	製図	図面名称	表紙・図面リスト	—
				九州センター	令和 2年 月



: 工事対象建物を示す

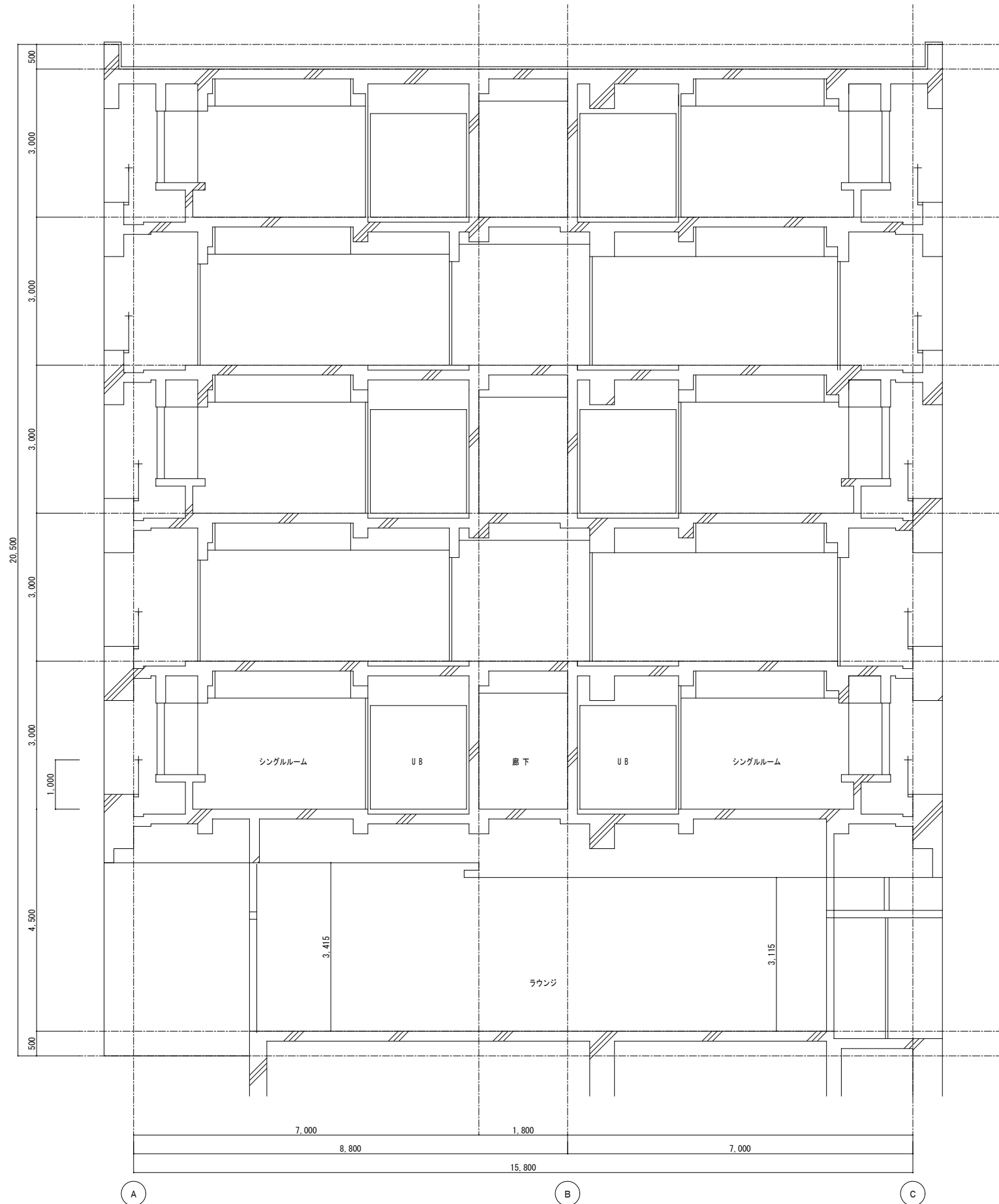
全体配置図      A1: S=1/300  
A3: S=1/600

受託者名	(株) 総合設備コンサルタント 九州事務所			図面	共-01
業務完了年月日	令和2年	月	日	図面	番号
管理技術者	技術者	製図		図面	名称
				九州センター	
				縮尺	A1: S=1/300 A3: S=1/600
				図面	名称
				九州センター	令和 年 月



管理研修棟 建物断面図  
 A1: S=1/50  
 A3: S=1/100

受託者名	(株) 総合設備コンサルタント 九州事務所			図面 番号	共-02
業務完了年月日	令和2年	月	日	図面 名称	管理研修棟 建物断面図
管理技術者	技術者	製図		縮尺	A1: S=1/50 A3: S=1/100
				九州センター	令和 年 月



宿舎棟 建物断面図 A1: S=1/50 A3: S=1/100

受託者名	(株) 総合設備コンサルタント 九州事務所			図面 番号	共-03
業務完了年月日	令和2年	月	日	工 事 名 称	九州センター 空調設備更新工事
管理技術者	技 術 者	製 図	製 図	図 面 名 称	宿舎棟 建物断面図
					A1: S=1/50 A3: S=1/100
					九州センター 令和 年 月



14 受水設備	※加圧給水ポンプ（住宅物件）の仕様については、加圧給水ポンプユニット仕様書（国土交通省仕様）による。
15 浄化設備	※浄化槽仕様書による。

16 保温仕様	施工箇所	保温種別	区別			
	屋内露出	1.グラスウール 2.断熱 3.合成樹脂被覆カバー	給水管	排水管	給排水パイプ	外壁
	機械室・倉庫	1.グラスウール 2.断熱 3.アルミガラスクロス	●	●	○	○
	天井内・PS内・空隙壁中	1.アルミガラスクロス化粧付グラスウール保温層	○	○	○	○
	床下・暗渠内	1.ポリスチレン 2.粘着テープ 3.ポリエチレンフィルム	○	○	○	○
	床下・暗渠内・コンクリート内	1.グラスウール 2.断熱 3.ポリエチレンフィルム	○	○	○	○
	屋外露出・多湿箇所	1.グラスウール 2.断熱 3.ポリエチレンフィルム 4.ステンレス鋼板	○	○	○	○
	屋外露出・多湿箇所	1.ポリスチレン 2.粘着テープ 3.ポリエチレンフィルム 4.ステンレス鋼板	○	○	○	○
	黒管塗装	1.錆止めペイント (2回) 2.防錆ペイント (2回)	○	○	○	○
	白管塗装	1.エッチング 2.錆止めペイント (2回) 3.防錆ペイント (2回)	○	○	○	○

空調設備工事(冷暖水)管	施工箇所	保温種別	区別			
	屋内露出	1.グラスウール 2.断熱 3.ポリエチレンフィルム 4.合成樹脂被覆カバー	給水管	排水管	給排水パイプ	外壁
	屋内露出	1.ポリスチレン 2.粘着テープ 3.ポリエチレンフィルム 4.合成樹脂被覆カバー	○	○	○	○
	屋内露出	1.断熱断熱材 2.保温化粧ケース	○	○	○	○
	機械室・倉庫	1.グラスウール 2.断熱 3.ポリエチレンフィルム 4.アルミガラスクロス	○	○	○	○
	機械室・倉庫	1.ポリスチレン 2.粘着テープ 3.ポリエチレンフィルム 4.アルミガラスクロス	○	○	○	○
	天井内・PS内・空隙壁中	1.アルミガラスクロス化粧付グラスウール保温層	○	○	○	○
	天井内・PS内・空隙壁中	1.グラスウール 2.断熱 3.ポリエチレンフィルム 4.アルミガラスクロス	○	○	○	○
	床下・暗渠内・コンクリート内	1.グラスウール 2.断熱 3.ポリエチレンフィルム 4.着色アルミガラスクロス	○	○	○	○
	床下・暗渠内・コンクリート内	1.ポリスチレン 2.粘着テープ 3.ポリエチレンフィルム 4.ステンレス鋼板	○	○	○	○

一般風道	区分	屋内露出	屋内隠ぺい	屋外露出
	矩形風道	1.断熱 2.アルミガラスクロス化粧付グラスウール保温層 3.アルミガラスクロス化粧テープ	1.断熱 2.アルミガラスクロス化粧付グラスウール保温層 3.アルミガラスクロス化粧テープ	1.断熱 2.アルミガラスクロス化粧付グラスウール保温層 3.アルミガラスクロス化粧テープ
	円形風道(スパイラルダクト)	1.アルミガラスクロス化粧付グラスウール保温層 2.アルミガラスクロス化粧テープ 3.着色樹脂被覆	1.アルミガラスクロス化粧付グラスウール保温層 2.アルミガラスクロス化粧テープ 3.着色樹脂被覆	1.断熱 2.アルミガラスクロス化粧付グラスウール保温層 3.アルミガラスクロス化粧テープ

排煙風道	区分	保温種別
	矩形	1.断熱 2.アルミガラスクロス化粧付グラスウール保温層 3.アルミガラスクロス化粧テープ 4.きつ甲巻紙(巻)
	円形	1.断熱 2.アルミガラスクロス化粧付グラスウール保温層 3.きつ甲巻紙(巻)

※ポリスチレンフォーム保温層及びロッキング保温層又は、保温板の使用が困難な箇所は、ロッキングシートを使用してもよい。  
 ※ストレーナー・弁の保温は、屋内屋外ともビスなどにより容易に着脱できる構造とすること。  
 ※防火区画を貫通する管の保温は、その貫通部分をロッキング保温材とする。  
 ※蒸気管、温水管の保温は、ポリエチレンフィルムを除く。  
 ※スパイラルダクト(フランジ部を除く。)の保温は、グラスウール保温板32K使用してもよい。  
 ※OAダクトが室内空調空間を經由する場合は保温すること。  
 ※全熱交換器の一次側OA、EAダクトは保温工事を実施すること。

17 住宅保温仕様(管類については○印を塗りつぶしたものを適用する)	施工箇所	保温種別	区分			
	屋内露出(住宅内)黒管	1.錆止めペイント (2回) 2.防錆ペイント (2回)	給水管	排水管	給排水パイプ	外壁
	屋内露出(住宅内)白管	1.エッチング 2.錆止めペイント (2回) 3.防錆ペイント (2回)	○	○	○	○
	屋内露出(住宅外)	1.エッチング 2.断熱 3.断熱 4.断熱 5.錆止め 6.防錆ペイント (2回)	○	○	○	○
	機械室内	1.グラスウール 2.断熱 3.断熱 4.アルミガラスクロス	○	○	○	○
	メーターボックス内黒管	1.錆止めペイント (2回) 2.防錆ペイント (2回)	○	○	○	○
	メーターボックス内白管	1.エッチング 2.錆止めペイント (2回) 3.防錆ペイント (2回)	○	○	○	○
	メーターボックス内	1.グラスウール 2.断熱 3.アルミガラスクロス	○	○	○	○
	床下・暗渠内	1.ポリスチレン 2.粘着テープ 3.ポリエチレンフィルム	○	○	○	○
	床下・暗渠内	1.錆止めペイント (鋼管部)	○	○	○	○

※硬質塩化ビニル管及び鉄管のコンクリート、地中埋設部は防食施工しない。  
 ※サニタリーメント及び通気管の屋内露出部分は塗装する。  
 ※屋内露出(便所)の通気管は塗装する。  
 ※コンクリート貫通部分には、防食処理を行う。  
 ※間仕切壁(PL板除く)貫通の場合は両側にプラスチックプレート取付のこと。  
 ※支持金物仕様PS内(鋼製)、屋外(SUS製)、その他(樹脂製)とする。  
 ※さや管ヘッダー工法におけるヘッダー管は保温を行うこと。

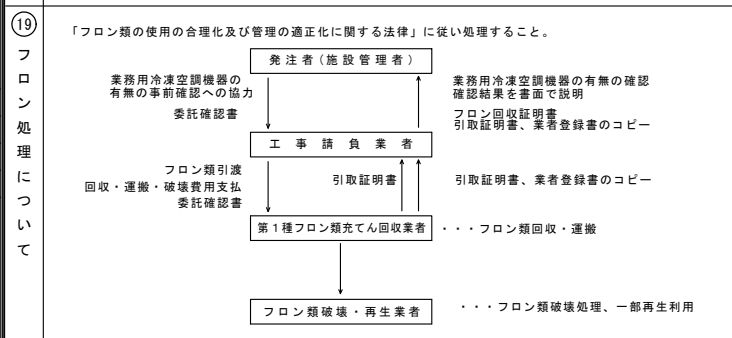
18 建設副産物の処理について  
 資源の有効利用、環境負荷の低減を図り、「資源循環型社会」を構築するため、建設副産物の発生抑制、再利用、適正処理を推進する。  
 現場内で発生する建設副産物の処理については、現場内において発生する品目ごとに分別保管場所を設置し集積すること。  
 また、「再生資源の利用の促進に関する法律」、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び建設廃棄物処理指針その他関係諸法令等によるほか、建設副産物適正処理推進要綱に従い、指定された方法により適正に処理を行うこと。  
 工事に際しては、工事着手時に「建設副産物処理計画書」、工事竣工時に「建設副産物処理結果報告書」(共に添付書類を含む)を提出すること。

指定副産物 (原則として再資源化施設へ持込むもの)	その他の副産物
・がれき類 (コンクリート塊) (アスファルト塊) ・木くず ・汚泥	・廃プラスチック ・ガラス、陶磁器くず ・廃石こうボード ・金属くず ・繊維くず

特別管理産業廃棄物  
 ・廃石綿等  
 「建築物の解体等に係る石綿飛散防止対策マニュアル(環境庁大気保全局)」に従い、収集、運搬、処分を行う。  
 ・廃PCB等  
 「電気事業法:電気関係報告規制」及び「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」に従い、報告書の作成・提出を行うとともに、適切に保管できるようにして施設管理者に引き渡すこと。

※参考受入場所は現場説明書による

建設副産物の処理内容	
処理内容	備考
現場内における分別	
現場内分別保管場所の設置	
現場内分別保管場所までの運搬	
分別保管場所からの積込み・運搬・処分	
「建設副産物の処理計画書」の作成	下請工事の場合は不要
「建設副産物の処理結果報告書」の作成	下請工事の場合は不要
「再生資源利用計画書」の作成	下請工事の場合は不要
「再生資源利用実施書」の作成	下請工事の場合は不要



20 中水道配管設備

1. 水源  
 ・雨水  
 ・雑用水処理水  
 ・井水

2. 配管材料  
 一般配管  
 ・塩化ビニル管(SGP-VA) ・ポリ粉体鋼管(SGP-PA)  
 ・塩化ビニル管(SGP-VB) ・ポリ粉体鋼管(SGP-PB)  
 ・水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管(HIVP)(屋内) ・鉄管(型種)  
 ・ステンレス鋼管(SUS) (圧縮継合・溶接継合・拡管継合)  
 屋内地中配管  
 ・塩化ビニル管(SGP-VD) ・ポリ粉体鋼管(SGP-PD)  
 ※ブチルゴム系コーキングテープ又はゴムリングで完全に密封すること。  
 屋外地中配管  
 ・塩化ビニル管(SGP-VD) ・ポリ粉体鋼管(SGP-PD)  
 ・水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管(HIVP) 水道用硬質塩化ビニル管(VP)  
 ※ブチルゴム系コーキングテープ又はゴムリングで完全に密封すること。  
 ・ポリエチレン管 1種(PE) (溶着継合・金属継手継合)

3. 継接部の防止対策

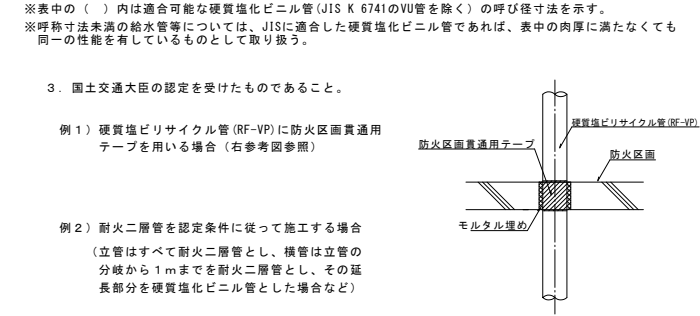
配管等	
屋内隠ぺい配管	1. 保温前の裸管に若草色の着色塗装を行う。 2. 保温後の上には若草色の表示テープを1箇所3回巻きにし、1m間隔に巻く。
屋内・屋外露出配管	1. 保温前の裸管に若草色の着色塗装を行う。 2. 保温後の要所には「処理水」と表示する。
地中埋設部	1. 埋設前の裸管に若草色の表示テープを1箇所3回巻きにし、1m間隔に巻く。
コンクリート内埋設部の配管	2. 「処理水」の文字入り埋設標識テープ(黄色)を布設する。(地中埋設部)
メーター	1. メーター本体に若草色の着色塗装を行うこと。 2. メーターボックス蓋は「処理水」入りを使用すること。
バルブ等	1. バルブハンドルには若草色の着色塗装を行うこと。 2. バルブ等で誤操作する恐れのある箇所には、標示板等を取り付け処理水の等であることが識別できるようにする。 3. 地中埋設バルブの鉄蓋は「処理水」入りを使用すること。

注) 若草色とは黄緑色をいう。  
 処理水の差色表示テープ、黄色の埋設標識テープは福岡市工事組合に常備。  
 井戸水を雑用水として使用する場合は、上表において「若草色を黄色に」、「処理水を雑用水」と読みかえる。

4. 試験  
 継接部がないことを確認するた衛生器具等の取付完了後、系統毎に着色水を用いた通水試験等を行う。

図1 防火区画等貫通部措置  
 給水管、排水管及び通気管等が防火区画を貫通する場合の措置は、建築基準法施行令第129条の2の5第1項第7号に規定されており、次のいずれかに該当すること。  
 1. 防火区画等の貫通部分及び両側1m以内を不燃材料で造ること。(右参考図参照)  
 2. 平成12年建設省告示第1422号に適合すること。(下表)(難燃材料又は硬質塩化ビニル管(VP)を用いる場合)

用途	覆いの有無	肉厚	給水管等の外径		
			防火構造	30分耐火構造	1時間耐火構造
給水管	無し	5.5mm以上	90mm(75)		
		6.6mm以上	115mm(100)		
排水管及び排水管に付属する通気管	無し	4.1mm以上	61mm(50)		
		5.5mm以上	90mm(75)		
厚さ0.5mm以上の鉄板の覆い有り	無し	6.6mm以上	115mm(100)	90mm	
		7.0mm以上	141mm(125)	115mm	



工事の区分	電気工事、機械工事の工区分 [本工事: 機械工事]			
項目	区分	電気	機械	備考
名称	摘要			
コンクリートあけ	床スラブ木製型枠入れ	○	○	墨出し、補修除く
同上開口部補強	床スラブボイド等スリッパ入れ	○	○	ボイド等
ALCパネルの穴あけ、補修	鉄筋切断及び補強筋入れ	○	○	100φ以下とする
インサート	ダクト部の貫通	○	○	
天井点検口	コンクリート床	○	○	ボード切込、墨出し共
軽鉄下地開口部墨出し	点検口取付及び、開口部補強	○	○	
電気関係開口部	機械関係開口部	○	○	照明器具等
空気吹出口	天井及び壁、ボード切開	○	○	空気吹出口
照明器具、空調吹出口		○	○	照明器具、空調吹出口
給排水ガタリ等		○	○	給排水ガタリ等
ボード切込、墨出し共		○	○	ボード切込、墨出し共
開口補強を必要としない		○	○	
ボード等の切開		○	○	
一般機器類の基礎	仕上共	○	○	建築・電気・機械用各々
機械用アンカーボルト型枠入れ	機械設備関係機器	○	○	機械設備関係機器
全熱交換器		○	○	
同上用スイッチ		○	○	
外壁取付ガラリ	給排水用	○	○	
ガラリへの給排水外接続		○	○	屋上
室内プロジェクト用吊金物		○	○	
防火区画貫通部補修		○	○	モルタル充てん等
機器・配管取付後の		○	○	建築・電気・機械用
壁・床等の補修		○	○	各々で補修
既設天井撤去復旧		○	○	
室内機化粧パネル取外再取付		○	○	
制気口取外再取付		○	○	
中央監視装置本体	関係機器、関係機器間配線を含む	○	○	
同上用電源配線	1次側	○	○	
同上用信号線	各メーターから装置まで	○	○	

受託者名	(株) 総合設備コンサルタント	九州事務所	工 事 名	九州センター空調設備更新工事	図 面 番 号	M-02
業務完了年月日	令和2年 月 日		図 面 名 称	機械工事 特記事項(2)	縮 尺	1:500
管理技術者	技 術 者	製 図	図 面 名 称	九州センター	縮 尺	1:500

空調設備 機器明細表

<60Hz>

記号	名称	仕様及び付属品	電気容量			数量	備考
			φ	V	kW		
AC-1-1	空冷ヒートポンプ マルチエアコン室外機 (1階ラウンジ系統)	型式 マルチ床置型(14HP) 高効率型	3	200	12.7	1	1階屋外
		冷房能力 40.0 kW 暖房能力 45.0 kW			圧縮機 10.7		
		付属品 スプリング防振架台、分岐管、他標準付属品一式			送風機 0.46		
AC-1-1A	空冷ヒートポンプ マルチエアコン室内機	型式 ビルトイン形	1	200	0.30	3	1階 ラウンジ
		冷房能力 11.2 kW 暖房能力 12.5 kW					
		付属品 リモコンスイッチ、ドレンアップメカ、キャンバスタクト、吸込パネル ロングライフフィルタ、他標準付属品一式					
AC-1-2	空冷ヒートポンプ マルチエアコン室外機 (1階ラウンジ系統)	型式 マルチ床置型(14HP) 高効率型	3	200	12.7	1	1階屋外
		冷房能力 40.0 kW 暖房能力 45.0 kW			圧縮機 10.7		
		付属品 スプリング防振架台、分岐管、他標準付属品一式			送風機 0.46		
AC-1-2A	空冷ヒートポンプ マルチエアコン室内機	型式 ビルトイン形	1	200	0.30	3	1階 ラウンジ
		冷房能力 11.2 kW 暖房能力 12.5 kW					
		付属品 リモコンスイッチ、ドレンアップメカ、キャンバスタクト、吸込パネル ロングライフフィルタ、他標準付属品一式					
AC-1-3	空冷ヒートポンプ マルチエアコン室外機 (1階ラウンジ系統)	型式 マルチ床置型(14HP) 高効率型	3	200	12.7	1	1階屋外
		冷房能力 40.0 kW 暖房能力 45.0 kW			圧縮機 10.7		
		付属品 スプリング防振架台、分岐管、他標準付属品一式			送風機 0.46		
AC-1-3A	空冷ヒートポンプ マルチエアコン室内機	型式 ビルトイン形	1	200	0.30	3	1階 ラウンジ
		冷房能力 11.2 kW 暖房能力 12.5 kW					
		付属品 リモコンスイッチ、ドレンアップメカ、キャンバスタクト、吸込パネル ロングライフフィルタ、他標準付属品一式					
AC-3	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン (1階食堂系統)	型式 床置ダクト接続型(16HP)	3	200	14.35	2	室外機:1階屋外 室内機:1階機械室
		冷房能力 45.0 kW 暖房能力 50.0 kW	(室外機)	圧縮機 8.4			
		送風量 8,400 m <sup>3</sup> /h			送風機 0.46×2		
		機外静圧 400Pa 加湿 6.0kg/h(有効)	(室内機)	送風機 3.7			
		付属品 スプリング防振架台(室外機)、防振ゴムパット(室内機)、プレフィルター 中性能フィルター、フィルターボックス、透湿膜加湿器、リモコンスイッチ 吸込ダクトフランジ、他標準付属品一式					
AC-5-2A	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン (1階フロント休憩室系統)	型式 天井埋込カセット形(2方向吹出タイプ)	1	200	1.43	1	室外機:1階屋外 室内機:1階フロント休憩室
		冷房能力 4.0kW 暖房能力 4.5kW	(室外機)	圧縮機 0.9			
		付属品 リモコンスイッチ、ドレンアップメカ、ロングライフフィルタ、他標準付属品一式	(室内機)	送風機 0.04 送風機 0.05			
AC-5-2B	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン (1階フロント事務室系統)	型式 天井埋込カセット形(2方向吹出タイプ)	1	200	1.89	1	室外機:1階屋外 室内機:1階フロント事務室
		冷房能力 5.0kW 暖房能力 5.6kW	(室外機)	圧縮機 1.2			
		付属品 リモコンスイッチ、ドレンアップメカ、ロングライフフィルタ、他標準付属品一式	(室内機)	送風機 0.04 送風機 0.05			
AC-7	空冷ヒートポンプ マルチエアコン室外機 (1階オーディオルーム系統)	型式 床置型(5HP) 高効率型	3	200	4.76	1	1階屋外
		冷房能力 14.0 kW 暖房能力 16.0 kW			圧縮機 3.77		
		付属品 スプリング防振架台、分岐管、他標準付属品一式			送風機 0.35		

<60Hz>

記号	名称	仕様及び付属品	電気容量			数量	備考
			φ	V	kW		
AC-7A-1	空冷ヒートポンプ マルチエアコン室内機	型式 天井埋込カセット形(2方向吹出タイプ)	1	200	0.04	1	1階 打ち合せルーム
		冷房能力 4.5 kW 暖房能力 5.0 kW					
		付属品 リモコンスイッチ、ドレンアップメカ、ロングライフフィルタ、他標準付属品一式					
AC-7A-2	空冷ヒートポンプ マルチエアコン室内機	型式 天井埋込カセット形(2方向吹出タイプ)	1	200	0.04	1	1階 健康相談室
		冷房能力 4.5 kW 暖房能力 5.0 kW					
		付属品 リモコンスイッチ、ドレンアップメカ、ロングライフフィルタ、他標準付属品一式					
AC-7B	空冷ヒートポンプ マルチエアコン室内機	型式 天井埋込カセット形(4方向吹出タイプ)	1	200	0.02	1	1階 オーディオルーム
		冷房能力 5.6 kW 暖房能力 6.3 kW					
		付属品 リモコンスイッチ、ドレンアップメカ、ロングライフフィルタ、他標準付属品一式					
AC-8A	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン (1階和室系統)	型式 天井埋込カセット形(4方向吹出タイプ)	1	200	1.05	1	室外機:1階屋外 室内機:1階和室
		冷房能力 4.0kW 暖房能力 4.5kW	(室外機)	圧縮機 0.9			
		付属品 リモコンスイッチ、ドレンアップメカ、ロングライフフィルタ、他標準付属品一式	送風機 0.04				
			(室内機) 送風機 0.05				
AC-8B	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン (1階和室系統)	型式 天井埋込カセット形(4方向吹出タイプ)	1	200	1.05	1	室外機:1階屋外 室内機:1階和室
		冷房能力 4.0kW 暖房能力 4.5kW	(室外機)	圧縮機 0.9			
		付属品 リモコンスイッチ、ドレンアップメカ、ロングライフフィルタ、他標準付属品一式	送風機 0.04				
			(室内機) 送風機 0.05				

※電気容量は、参考値とする。  
 ※パッケージ型空調機の冷暖房能力は、JIS条件(JIS B 8616)及び冷媒管長・高低差の補正後の機器能力を示す。  
 ※パッケージ型空調機で使用される冷媒ガスは新冷媒とする。(オゾン破壊係数0のものとする)  
 ※パッケージ型空調機は、グリーン購入法(特定調達物品等)適合品とする。  
 ※パッケージ型空調機の屋内外の渡り配線は、冷媒配管に共巻きとする。  
 ※ビル用マルチエアコン(室外機・室内機共)は、外部出力端子付(状態および警報接点用)とする。

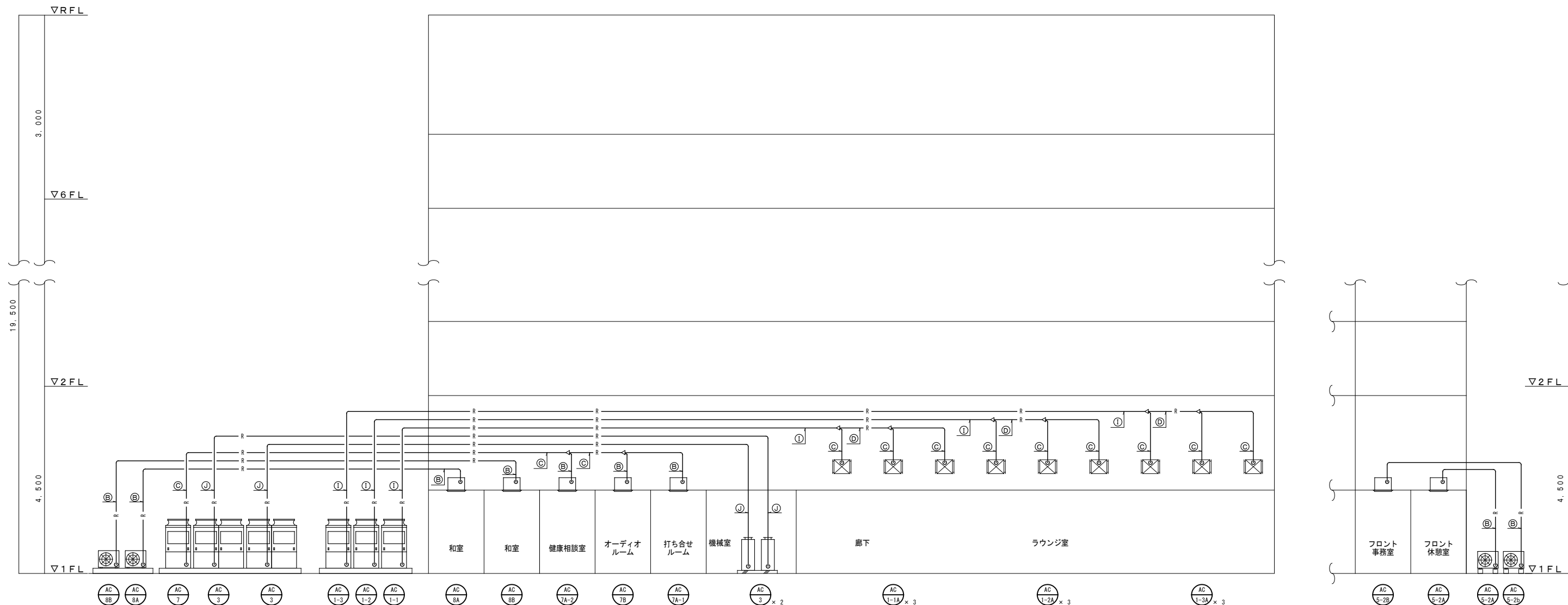
受託者名	(株)総合設備コンサルタント 九州事務所			工事名	九州センター空調設備更新工事	図面番号	M-03
業務完了年月日	令和元年	月	日	図面名称	宿泊棟・管理研修棟 空調設備 機器明細表(改修後)	縮尺	A1:N.S A3:N.S
管理技術者	技術者	製図		九州センター		令和元年	月

凡例	
記号	名称
—R—	(撤去) 冷媒配管
---R---	(残置) 冷媒配管

凡例		
記号	名称	仕様
—R—	冷媒管	冷媒用被覆銅管 (メーカー指定品)

冷媒管リスト		
記号	液管	ガス管
A	6.4φ	9.5φ
B	6.4φ	12.7φ
C	9.5φ	15.9φ
D	9.5φ	19.1φ
E	9.5φ	22.2φ
F	9.5φ	25.4φ
G	12.7φ	19.1φ
H	12.7φ	22.2φ
I	12.7φ	25.4φ
J	12.7φ	28.6φ
K	15.9φ	28.6φ

※室内外機連り配線共巻とする  
※サイズは参考とする



宿泊棟

管理研修棟

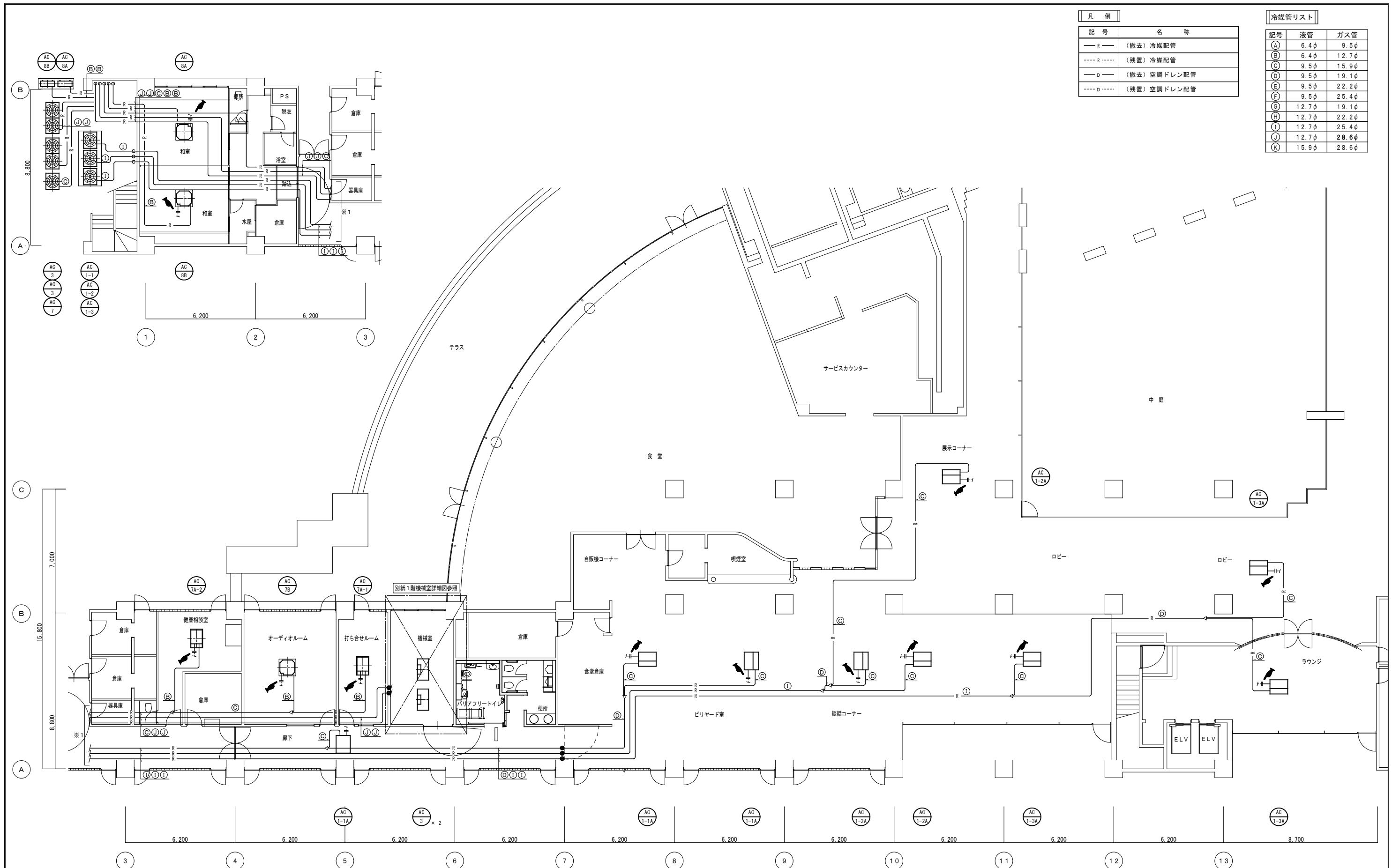
空調設備 配管系統図 (改修後)  
※図中の実線部は改修範囲を示す。

受託者名	(株) 総合設備コンサルタント 九州事務所			工事名	九州センター空調設備更新工事	図面番号	M-04
業務完了年月日	令和元年	月	日	図面名称	宿泊棟・管理研修棟 空調設備 配管系統図 (改修後)	縮尺	A1:N.S A3:N.S
管理技術者	技術者	製図		九 州 セ ン タ ー		令和元年	月



凡例	
記号	名称
— R —	(撤去) 冷媒配管
--- R ---	(残置) 冷媒配管
— D —	(撤去) 空調ドレン配管
--- D ---	(残置) 空調ドレン配管

冷媒管リスト		
記号	液管	ガス管
A	6.4φ	9.5φ
B	6.4φ	12.7φ
C	9.5φ	15.9φ
D	9.5φ	19.1φ
E	9.5φ	22.2φ
F	9.5φ	25.4φ
G	12.7φ	19.1φ
H	12.7φ	22.2φ
I	12.7φ	25.4φ
J	12.7φ	28.6φ
K	15.9φ	28.6φ



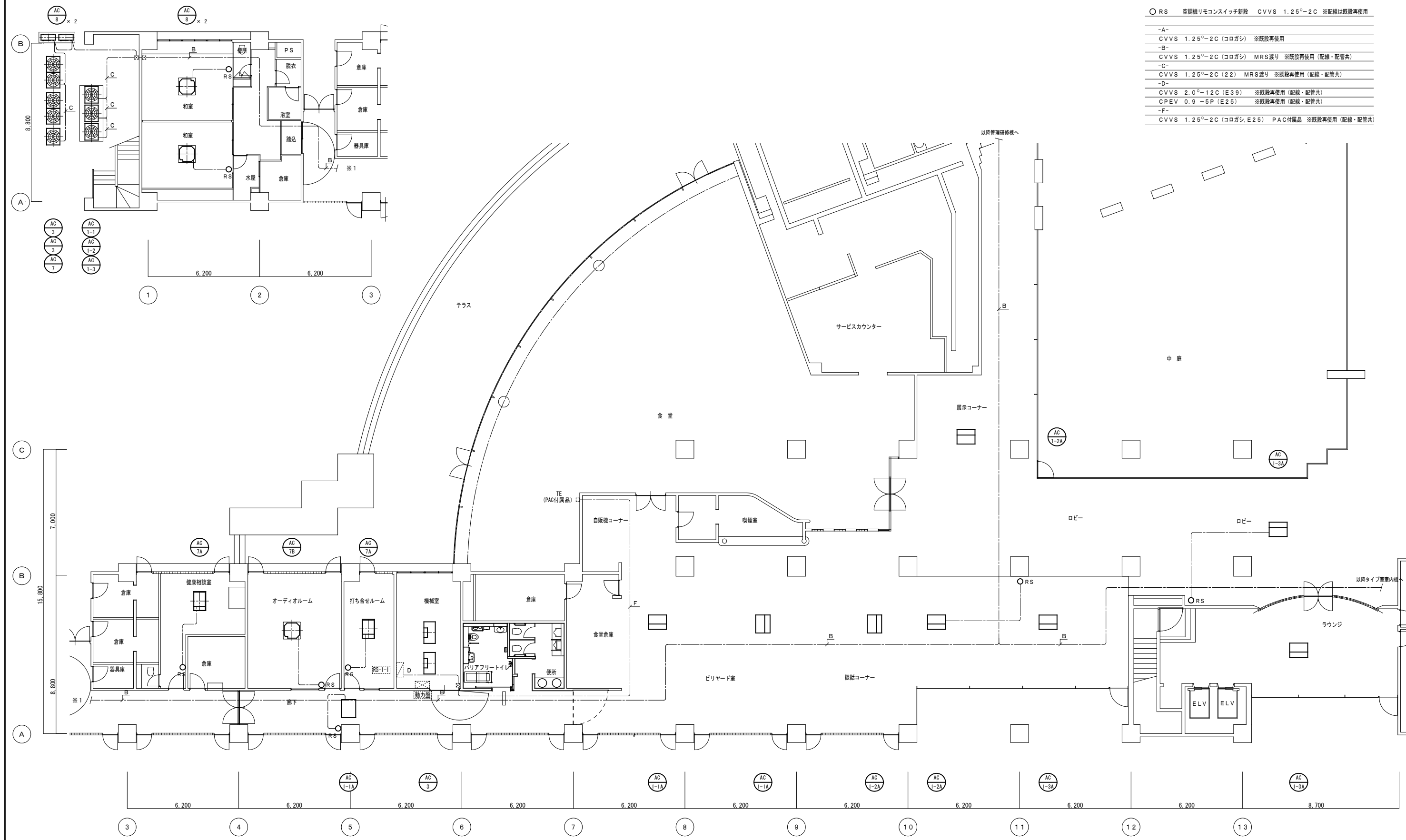
- 注記
1. 図中の機器、配管は全て撤去とする。但し、破線の配管（冷媒および空調ドレン）は残置とする。
  2. 図中の●は、ドレン管（25A）の切断箇所を示す。
  3. 室内外機送り配線（CVVS-1.25-2C, CVVS-2.0-3C）は、残置とする。
  4. 図中の●は、延焼ライン内の外壁及び防火上主要な間仕切壁の貫通を示し、国土交通大臣認定工法とする。

受託者名	(株) 総合設備コンサルタント 九州事務所			工事名	九州センター空調設備更新工事	図面番号	M-05
業務完了年月日	令和元年	月	日	図面名称	宿泊棟 空調設備 1階平面図(改修後)	縮尺	A1:S:1/100 A3:S:1/200
管理技術者	技術者	製図		名称	九州センター		令和元年 月



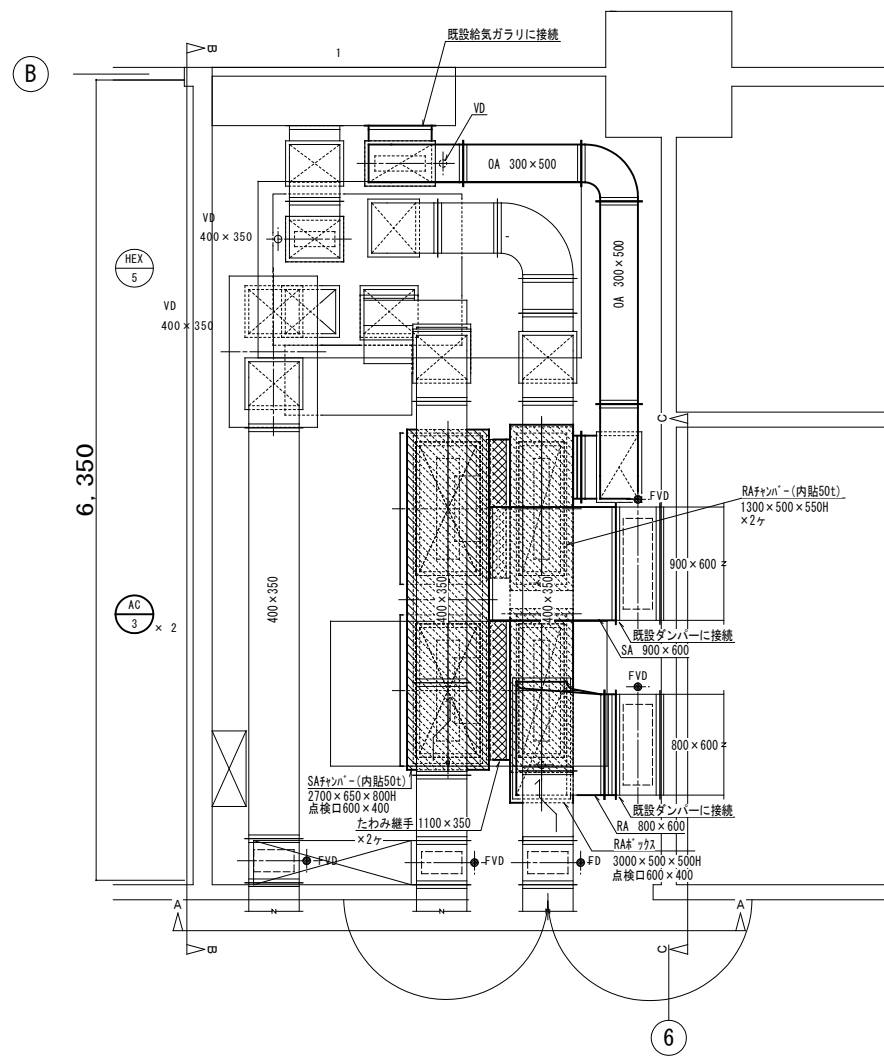
凡例

- RS 空調機リモコンスイッチ新設 CVVS 1.25°-2C ※配線は既設再使用
- A- CVVS 1.25°-2C (コロガシ) ※既設再使用
- B- CVVS 1.25°-2C (コロガシ) MRS渡り ※既設再使用 (配線・配管共)
- C- CVVS 1.25°-2C (22) MRS渡り ※既設再使用 (配線・配管共)
- D- CVVS 2.0°-12C (E39) ※既設再使用 (配線・配管共)
- E- CPEV 0.9-5P (E25) ※既設再使用 (配線・配管共)
- F- CVVS 1.25°-2C (コロガシ,E25) PAC付属品 ※既設再使用 (配線・配管共)

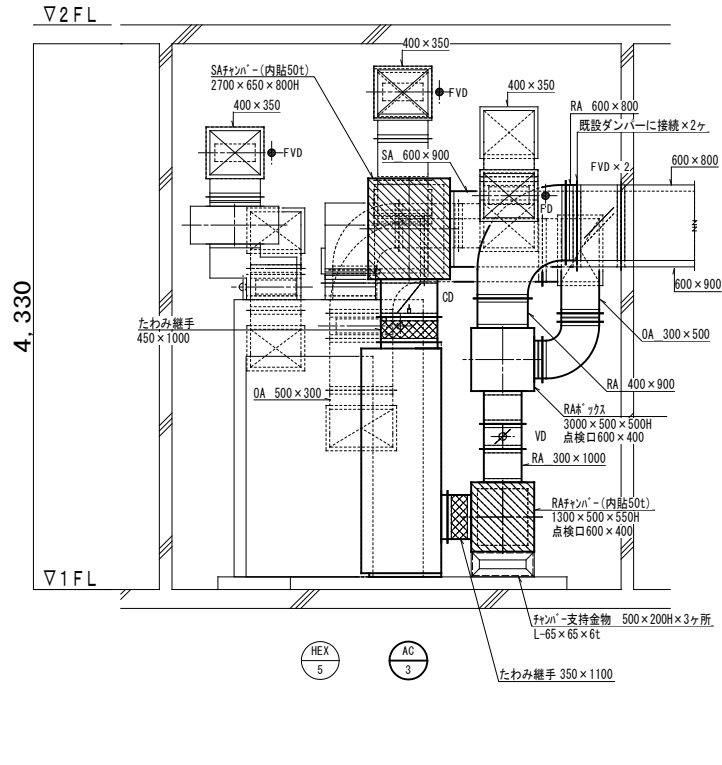


受託者名	(株)総合設備コンサルタント 九州事務所			工事名	九州センター空調設備更新工事	図面番号	M-07
業務完了年月日	令和元年	月	日	図面名称	宿泊棟 自動制御設備 1階平面図 (改修後)	縮尺	A1:S:1/100 A3:S:1/200
管理技術者	技術者	製図		九州センター		令和元年	月

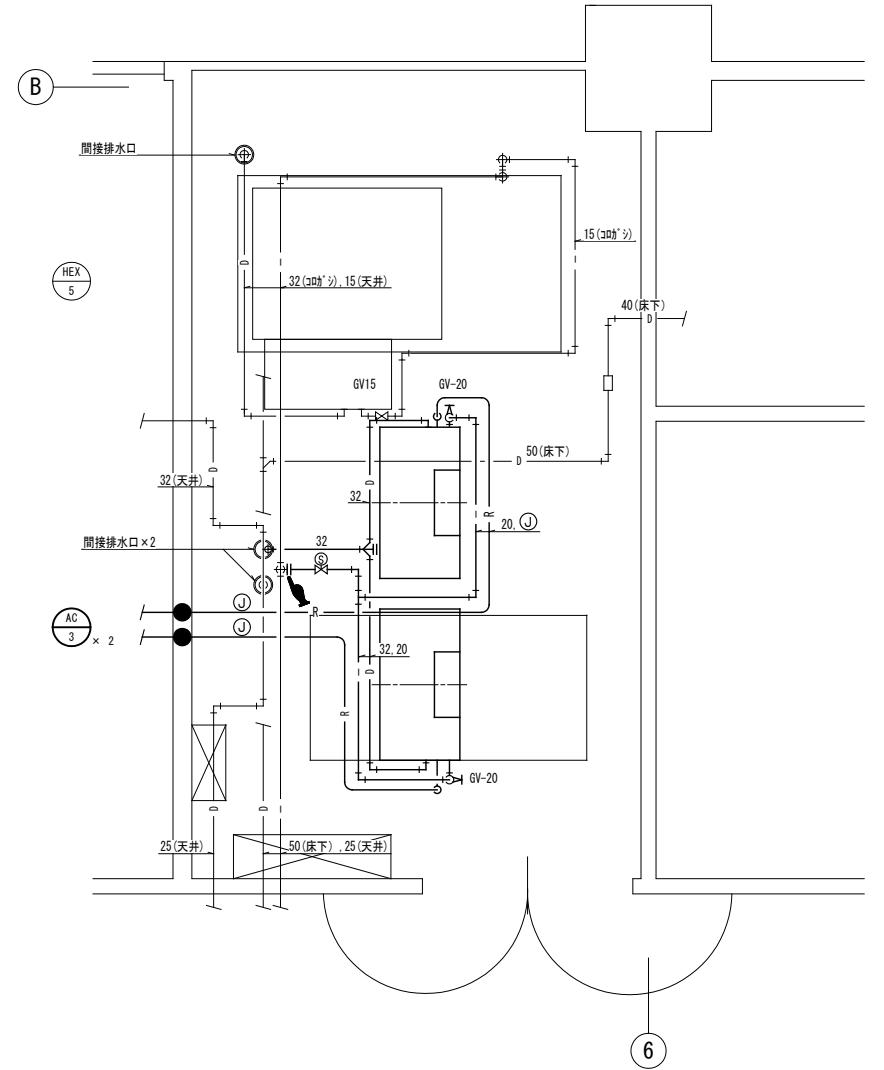
1 外壁ガラリ
2080 × 1650



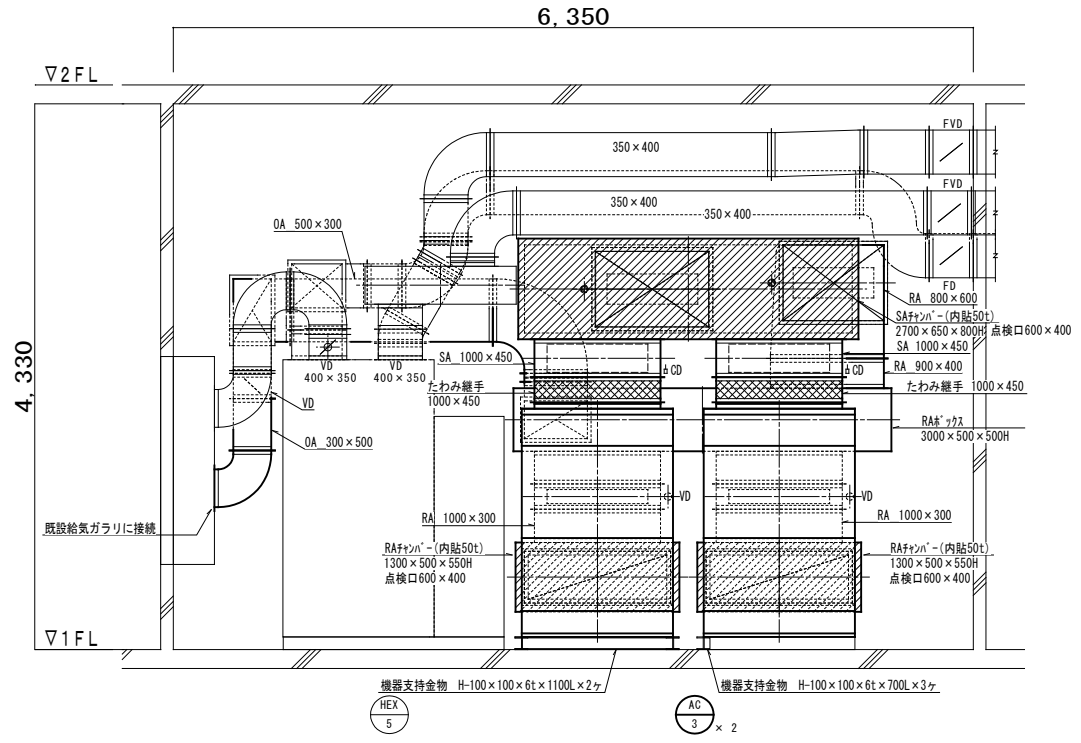
空調設備 1階機械室詳細図(ダクト) S=1/30



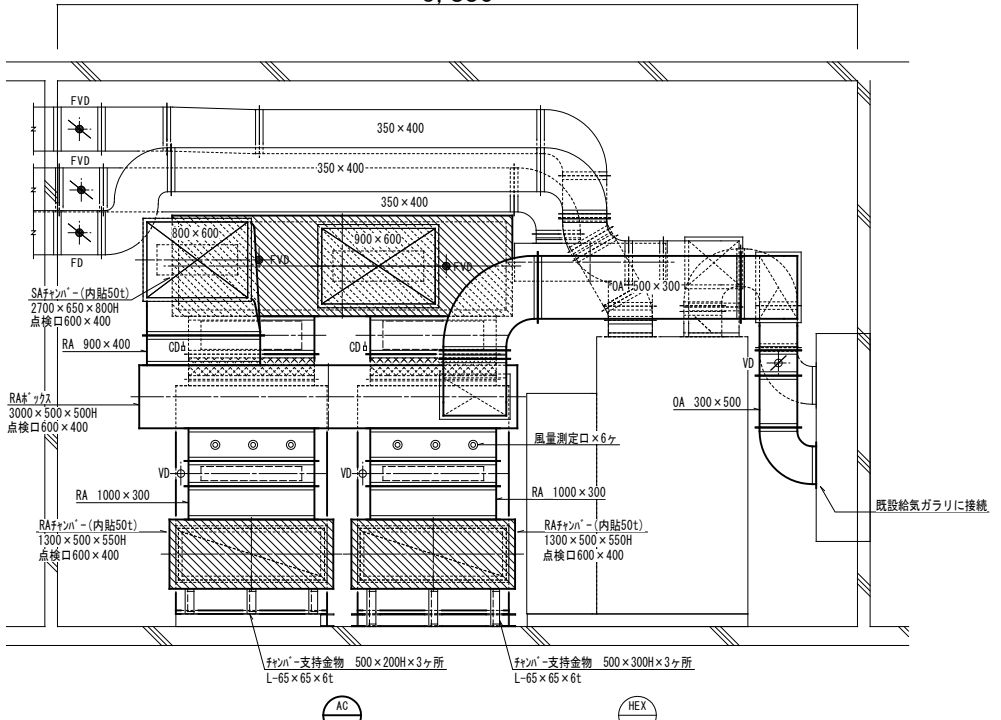
空調設備 1階機械室A-A断面図(ダクト) S=1/30



空調設備 1階機械室詳細図(配管) S=1/30



空調設備 1階機械室B-B断面図(ダクト) S=1/30



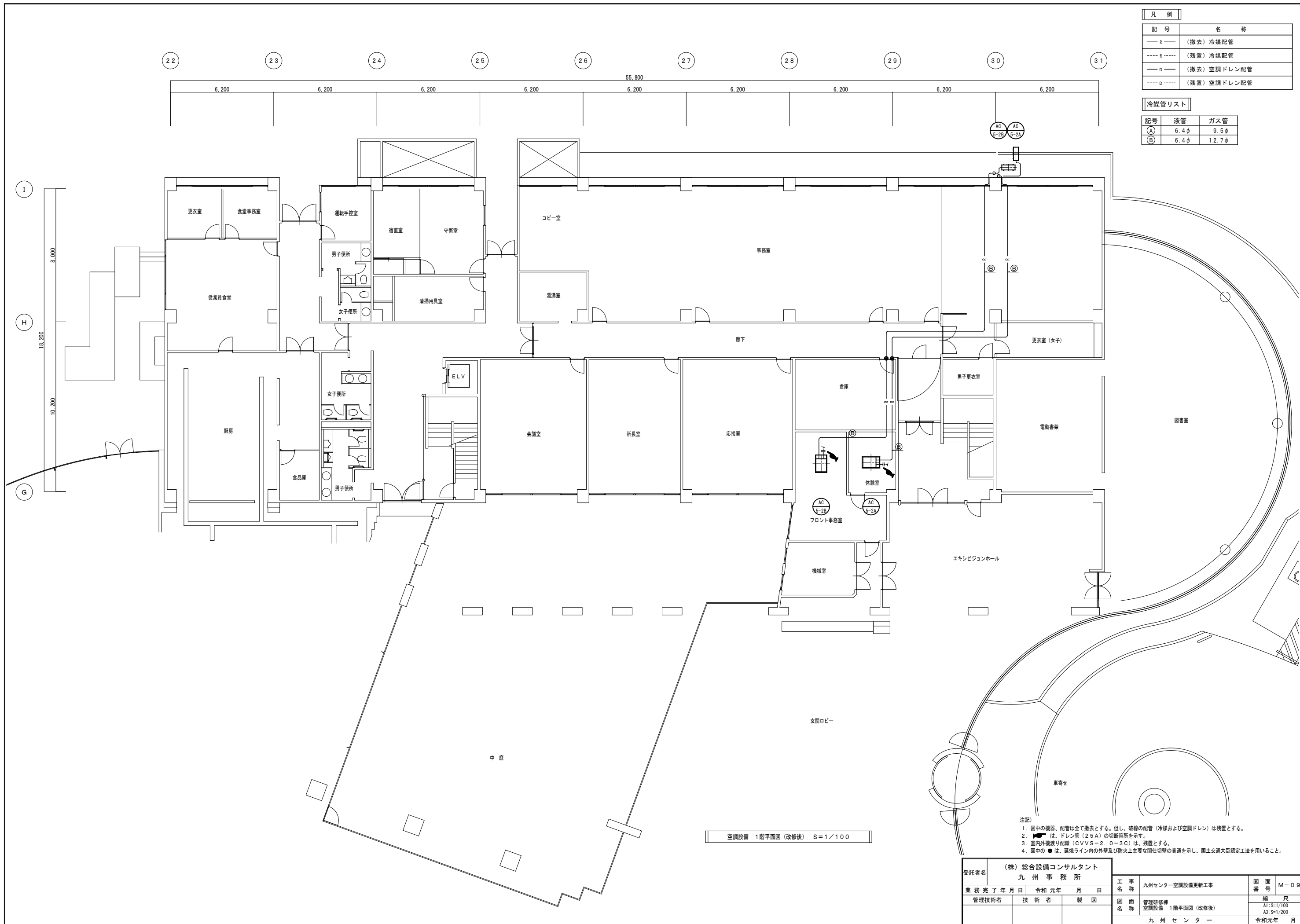
空調設備 1階機械室C-C断面図(ダクト) S=1/30

冷媒管リスト

記号	液管	ガス管
(A)	6.4φ	9.5φ
(B)	6.4φ	12.7φ
(C)	9.5φ	15.9φ
(D)	9.5φ	19.1φ
(E)	9.5φ	22.2φ
(F)	9.5φ	25.4φ
(G)	12.7φ	19.1φ
(H)	12.7φ	22.2φ
(I)	12.7φ	25.4φ
(J)	12.7φ	28.6φ
(K)	15.9φ	28.6φ

- 注記
1. 図中の太線部は本工事範囲を示し、細線部は既設部分を示す。
  2. 加湿給水管(25A)の接続箇所を示す。
  3. 室内外機渡り配線(EM-CES-1.25-2C)は、残置とする。
  4. 図中の●は、延焼ライン内の外壁及び防火上主要な間仕切壁の貫通を示し、国土交通大臣認定工法とする。

受託者名	(株) 総合設備コンサルタント			工事名	九州センター空調設備更新工事	図面番号	M-08
業務完了年月日	令和元年	月	日	図面名称	宿泊棟空調設備1階機械室詳細図(改修後)	縮尺	A1:S:1/30 A3:S:1/60
管理技術者	技術者	製図		図面名称	九州センター		令和元年 月



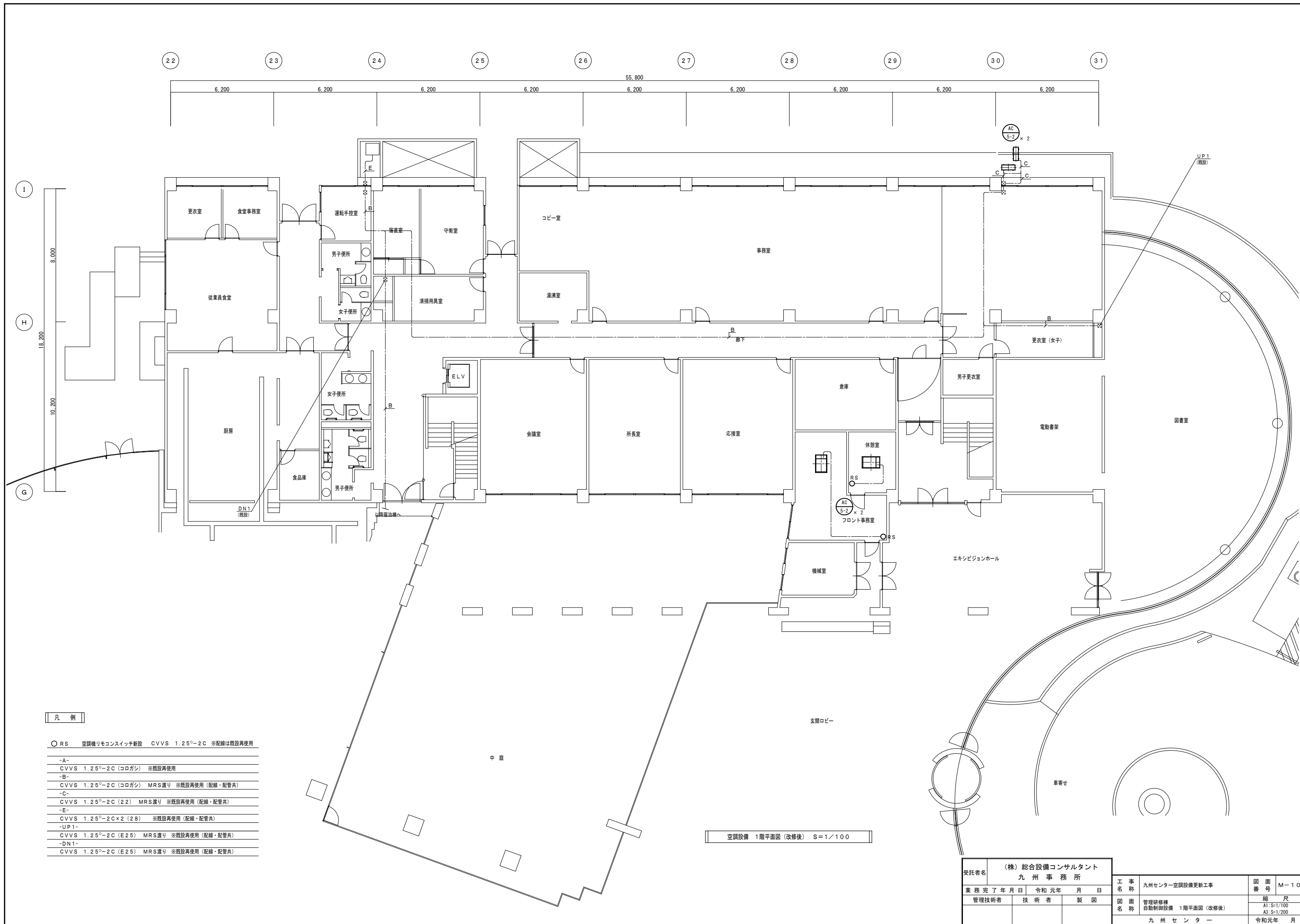
凡例	
記号	名称
— R —	(撤去) 冷媒配管
--- R ---	(残置) 冷媒配管
— D —	(撤去) 空調ドレン配管
--- D ---	(残置) 空調ドレン配管

冷媒管リスト		
記号	液管	ガス管
(A)	6.4 φ	9.5 φ
(B)	6.4 φ	12.7 φ

空調設備 1階平面図 (改修後) S=1/100

- 注記
1. 図中の機器、配管は全て撤去とする。但し、破線の配管 (冷媒および空調ドレン) は残置とする。
  2. 〇は、ドレン管 (2.5 A) の切断箇所を示す。
  3. 室内外機送り配線 (CVVS-2.0-3C) は、残置とする。
  4. 図中の ● は、延焼ライン内の外壁及び防火上主要な間仕切壁の貫通を示し、国土交通大臣認定工法を用いること。

受託者名	(株) 総合設備コンサルタント			図面番号	M-09
九州事務所	工事名	九州センター空調設備更新工事	縮尺	A1: S=1/100	
業務完了年月日	令和元年 月 日	製図	図面名称	空調設備 1階平面図 (改修後)	
管理技術者	技術者	製図	九州センター	A3: S=1/200	
				令和元年	月



凡例

- RS 空調機リモコンスイッチ新設 CVVS 1.25°-2C ※配線は既設再使用
- A- CVVS 1.25°-2C (コロガシ) ※既設再使用
- B- CVVS 1.25°-2C (コロガシ) MRS渡り ※既設再使用 (配線・配管共)
- C- CVVS 1.25°-2C (22) MRS渡り ※既設再使用 (配線・配管共)
- E- CVVS 1.25°-2C x 2 (28) ※既設再使用 (配線・配管共)
- UP1- CVVS 1.25°-2C (E25) MRS渡り ※既設再使用 (配線・配管共)
- DN1- CVVS 1.25°-2C (E25) MRS渡り ※既設再使用 (配線・配管共)

空調設備 1階平面図 (改修後) S=1/100

受託者名	(株) 総合設備コンサルタント 九州事務所			図面番号	M-10
業務完了年月日	令和元年	月	日	図面名称	管理研修棟 自動制御設備 1階平面図 (改修後)
管理技術者	技術者	製図		縮尺	A1: S=1/100 A3: S=1/200
				九州センター	令和元年 月

空調設備 撤去機器明細表

<60Hz>

記号	名称	仕様及び付属品	電気容量			数量	備考
			φ	V	kW		
AC-1-1	空冷ヒートポンプ マルチエアコン室外機 (1階ラウンジ系統)	型式 床置型(12HP)	3	200	9.57	1	1階屋外
		冷房能力 33.5 kW 暖房能力 37.5 kW			圧縮機 8.0		参考品番:PUHY-P335CM-E1
		冷媒量 9.0kg (R410A)			送風機 0.38		
AC-1-1A	空冷ヒートポンプ マルチエアコン室内機	型式 ビルトイン形	1	200	0.48	3	1階 ラウンジ
		冷房能力 11.2 kW 暖房能力 12.5 kW					
AC-1-2	空冷ヒートポンプ マルチエアコン室外機 (1階ラウンジ系統)	型式 床置型(12HP)	3	200	9.57	1	1階屋外
		冷房能力 33.5 kW 暖房能力 37.5 kW			圧縮機 8.0		参考品番:PUHY-P335CM-E1
		冷媒量 9.0kg (R410A)			送風機 0.38		
AC-1-2A	空冷ヒートポンプ マルチエアコン室内機	型式 ビルトイン形	1	200	0.48	3	1階 ラウンジ
		冷房能力 11.2 kW 暖房能力 12.5 kW					
AC-1-3	空冷ヒートポンプ マルチエアコン室外機 (1階ラウンジ系統)	型式 床置型(12HP)	3	200	9.57	1	1階屋外
		冷房能力 33.5 kW 暖房能力 37.5 kW			圧縮機 8.0		参考品番:PUHY-P335CM-E1
		冷媒量 9.0kg (R410A)			送風機 0.38		
AC-1-3A	空冷ヒートポンプ マルチエアコン室内機	型式 ビルトイン形	1	200	0.48	3	1階 ラウンジ
		冷房能力 11.2 kW 暖房能力 12.5 kW					
AC-3	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン (1階食堂系統)	型式 床置ダクト型(40HP)	3	200	37.6	1	室外機:1階屋外
		冷房能力 100.0 kW 暖房能力 112.0 kW	(室外機)	圧縮機 (8.2+5.3)			室内機:1階機械室
		送風量 19,800 m3/h			×2		参考品番:PFHV-P1120M-E-L
		冷媒量 64.4kg (R410A)		送風機 0.38×4			
AC-5-2A	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン (1階フロント休憩室系統)	型式 天井埋込カセット形(2方向吹出タイプ)	1	200	1.19	1	室外機:1階屋外
		冷房能力 4.0 kW 暖房能力 4.5 kW	(室外機)	圧縮機 0.9			室内機:1階フロント休憩室
		冷媒量 1.7kg (R410A)		送風機 0.03			参考品番:MPLZ-P45SPC
			(室内機)	送風機 0.04			
AC-5-2B	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン (1階フロント事務室系統)	型式 天井埋込カセット形(2方向吹出タイプ)	1	200	1.19	1	室外機:1階屋外
		冷房能力 4.0 kW 暖房能力 4.5 kW	(室外機)	圧縮機 0.9			室内機:1階フロント事務室
		冷媒量 1.7kg (R410A)		送風機 0.03			参考品番:MPLZ-P45SPC
			(室内機)	送風機 0.04			
AC-7	空冷ヒートポンプ マルチエアコン室外機 (1階オーディオルーム系統)	型式 床置型(5HP)	3	200	3.87	1	1階屋外
		冷房能力 14.0 kW 暖房能力 16.0 kW			圧縮機 2.8		参考品番:PUHY-P140M-E
		冷媒量 7.0kg (R410A)			送風機 0.38		

<60Hz>

記号	名称	仕様及び付属品	電気容量			数量	備考
			φ	V	kW		
AC-7A-1	空冷ヒートポンプ マルチエアコン室内機	型式 天井埋込カセット形(2方向吹出タイプ)	1	200	0.07	1	1階 打ち合せルーム
		冷房能力 4.5 kW 暖房能力 5.0 kW					
AC-7A-2	空冷ヒートポンプ マルチエアコン室内機	型式 天井埋込カセット形(2方向吹出タイプ)	1	200	0.07	1	1階 健康相談室
		冷房能力 4.5 kW 暖房能力 5.0 kW					
AC-7B	空冷ヒートポンプ マルチエアコン室内機	型式 天井埋込カセット形(4方向吹出タイプ)	1	200	0.12	1	1階 オーディオルーム
		冷房能力 5.6 kW 暖房能力 6.3 kW					
AC-8A	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン (1階和室系統)	型式 天井埋込カセット形(2方向吹出タイプ)	1	200	1.19	1	室外機:1階屋外
		冷房能力 4.0 kW 暖房能力 4.5 kW	(室外機)	圧縮機 0.9			室内機:1階和室
		冷媒量 1.7kg (R410A)		送風機 0.03			参考品番:MPLZ-P45SAC
			(室内機)	送風機 0.035			
AC-8B	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン (1階和室系統)	型式 天井埋込カセット形(2方向吹出タイプ)	1	200	1.19	1	室外機:1階屋外
		冷房能力 4.0 kW 暖房能力 4.5 kW	(室外機)	圧縮機 0.9			室内機:1階和室
		冷媒量 1.7kg (R410A)		送風機 0.03			参考品番:MPLZ-P45SAC
			(室内機)	送風機 0.035			

※冷媒フロンガスの処理  
・専門業者により回収処理を行い、撤去により発生する冷媒フロンは大気中に放出しないよう抽出し、適正に処理するものとする。  
また、最終破壊処理までの証明書を提出すること。

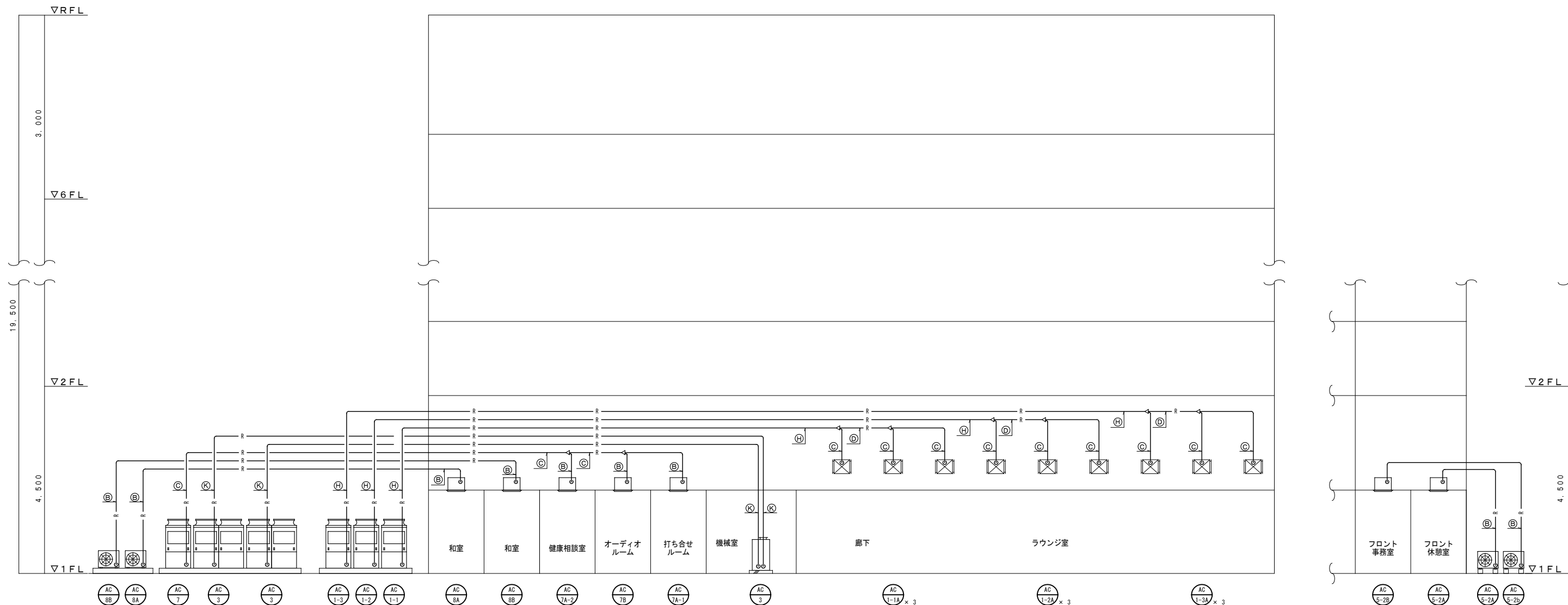
受託者名	(株)総合設備コンサルタント 九州事務所			工事名	九州センター空調設備更新工事	図面番号	M-11
業務完了年月日	令和元年	月	日	図面名称	宿泊棟・管理研修棟 空調設備 機器明細表(撤去)	縮尺	A1:N.S A3:N.S
管理技術者	技術者	製図		九州センター		令和元年	月

凡例	
記号	名称
—R—	(撤去) 冷媒配管
----R----	(残置) 冷媒配管

凡例		
記号	名称	仕様
—R—	冷媒管	冷媒用被覆銅管 (メーカー指定品)

冷媒管リスト		
記号	液管	ガス管
A	6.4φ	9.5φ
B	6.4φ	12.7φ
C	9.5φ	15.9φ
D	9.5φ	19.1φ
E	9.5φ	22.2φ
F	9.5φ	25.4φ
G	12.7φ	19.1φ
H	12.7φ	22.2φ
I	12.7φ	25.4φ
J	12.7φ	28.6φ
K	15.9φ	28.6φ

※室内外機連り配線共巻とする  
※サイズは参考とする



宿泊棟

管理研修棟

空調設備 配管系統図 (改修前)

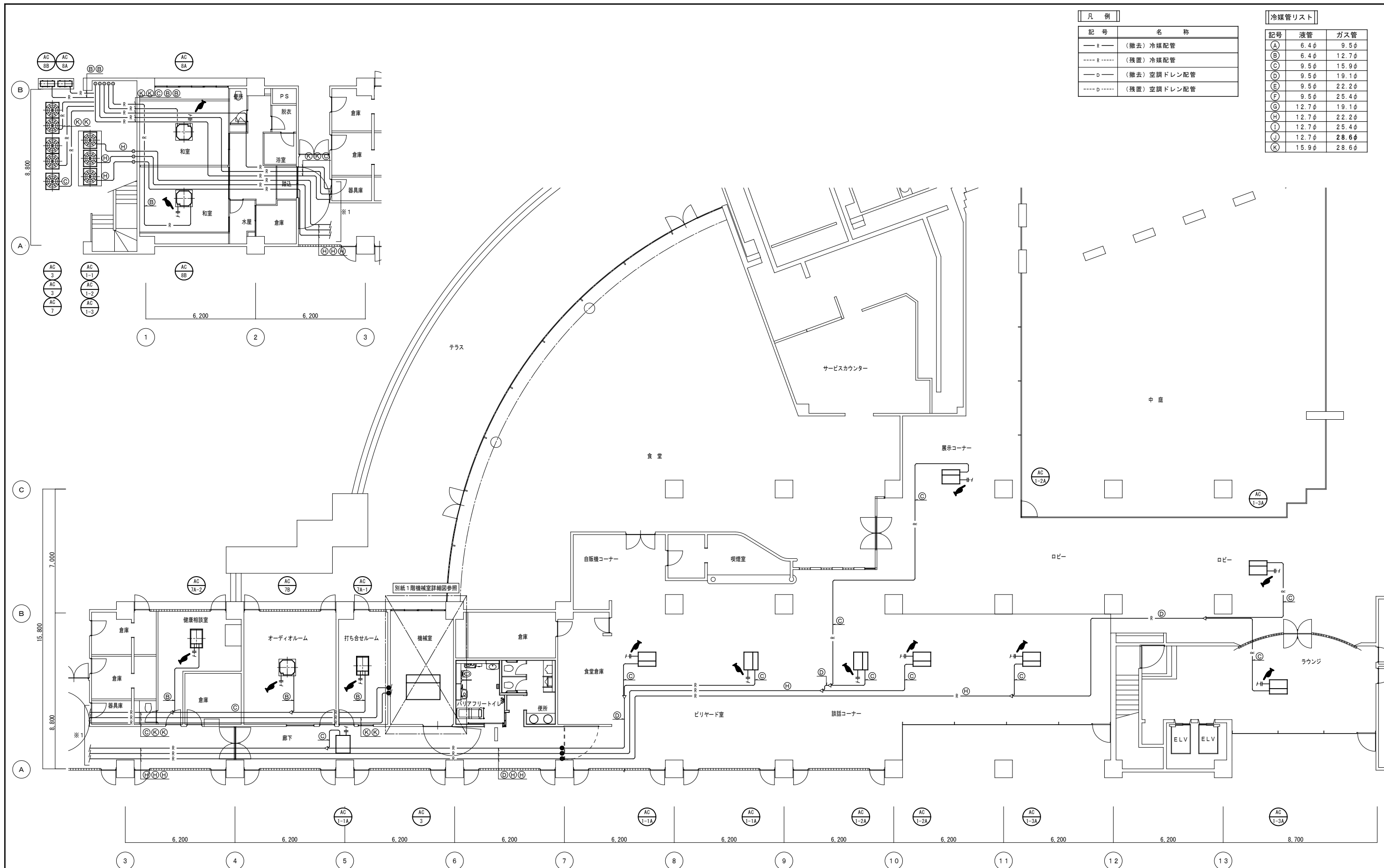
※図中の実線部は撤去範囲を示す。

受託者名	(株) 総合設備コンサルタント 九州事務所			工事名	九州センター空調設備更新工事	図面番号	M-12
業務完了年月日	令和元年	月	日	図面名称	宿泊棟・管理研修棟 空調設備 配管系統図 (改修前)	縮尺	A1:N.S A3:N.S
管理技術者	技術者	製図		九 州 セ ン タ ー		令和元年	月



凡例	
記号	名称
— R —	(撤去) 冷媒配管
--- R ---	(残置) 冷媒配管
— D —	(撤去) 空調ドレン配管
--- D ---	(残置) 空調ドレン配管

冷媒管リスト		
記号	液管	ガス管
A	6.4φ	9.5φ
B	6.4φ	12.7φ
C	9.5φ	15.9φ
D	9.5φ	19.1φ
E	9.5φ	22.2φ
F	9.5φ	25.4φ
G	12.7φ	19.1φ
H	12.7φ	22.2φ
I	12.7φ	25.4φ
J	12.7φ	28.6φ
K	15.9φ	28.6φ

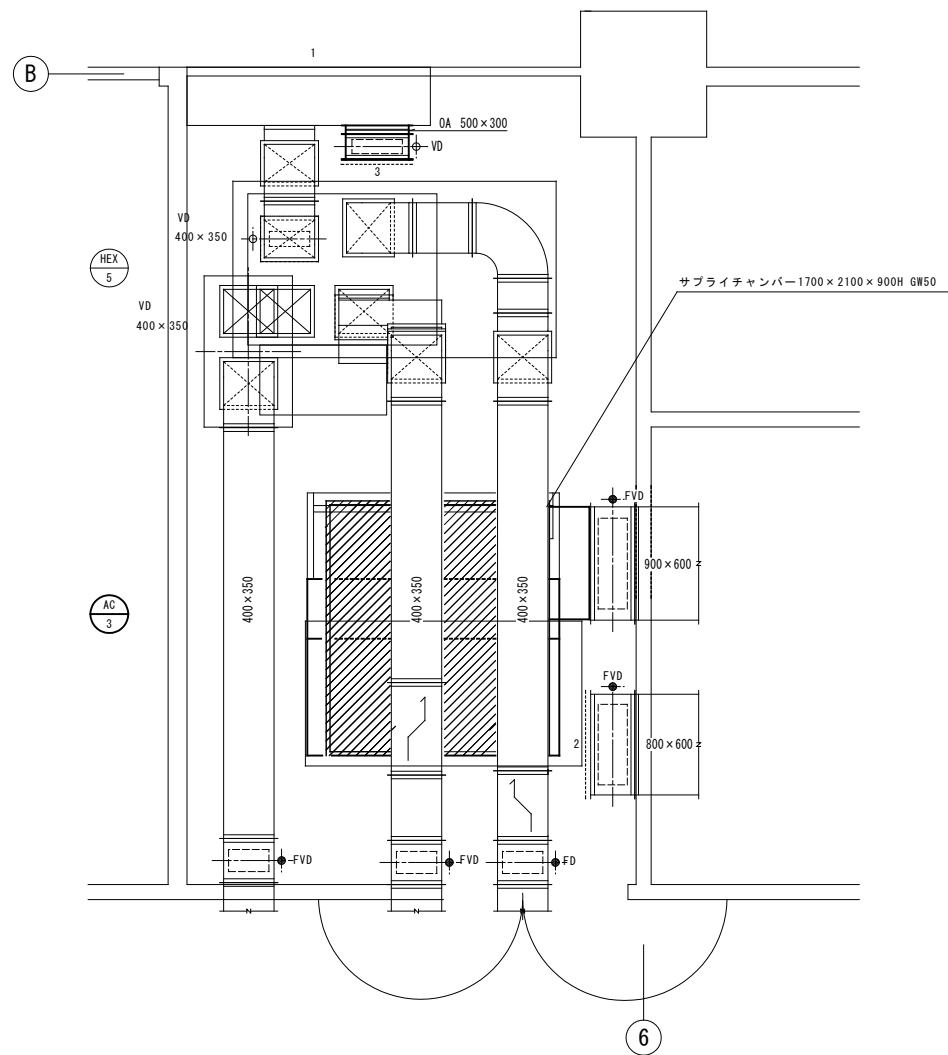


- 注記
1. 図中の機器、配管は全て撤去とする。但し、破線の配管（冷媒および空調ドレン）は残置とする。
  2. 図中の●は、ドレン管（2.5A）の切断箇所を示す。
  3. 室内外機送り配線（CVVS-1.25-2C, CVVS-2.0-3C）は、残置とする。
  4. 図中の●は、延焼ライン内の外壁及び防火上主要な間仕切壁の貫通を示し、国土交通大臣認定工法とする。

受託者名	(株) 総合設備コンサルタント 九州事務所			工事名	九州センター空調設備更新工事	図面番号	M-13
業務完了年月日	令和元年	月	日	図面名称	宿泊棟 空調設備 1階平面図 (改修前)	縮尺	A1:S:1/100 A3:S:1/200
管理技術者	技術者	製図		名称	九州センター		令和元年 月



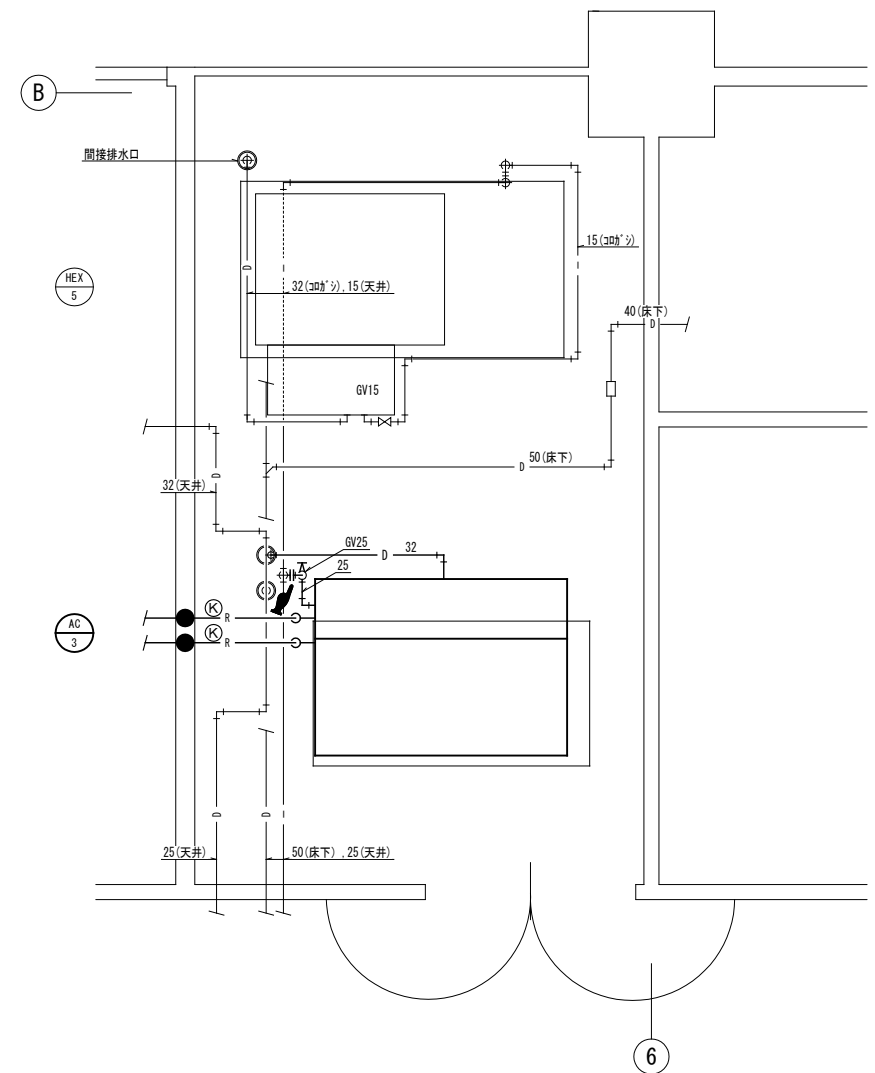
1 外壁ガラリ
2080 × 1650
2 吹出口
クリップ800 × 600
17200
3 吹出口
クリップ500 × 300
2600



空調設備 1階機械室詳細図 (ダクト) S=1/30

冷媒管リスト

記号	液管	ガス管
(A)	6.4φ	9.5φ
(B)	6.4φ	12.7φ
(C)	9.5φ	15.9φ
(D)	9.5φ	19.1φ
(E)	9.5φ	22.2φ
(F)	9.5φ	25.4φ
(G)	12.7φ	19.1φ
(H)	12.7φ	22.2φ
(I)	12.7φ	28.6φ
(J)	15.9φ	28.6φ
(K)	15.9φ	38.1φ
(L)	19.1φ	31.8φ
(M)	19.1φ	38.1φ



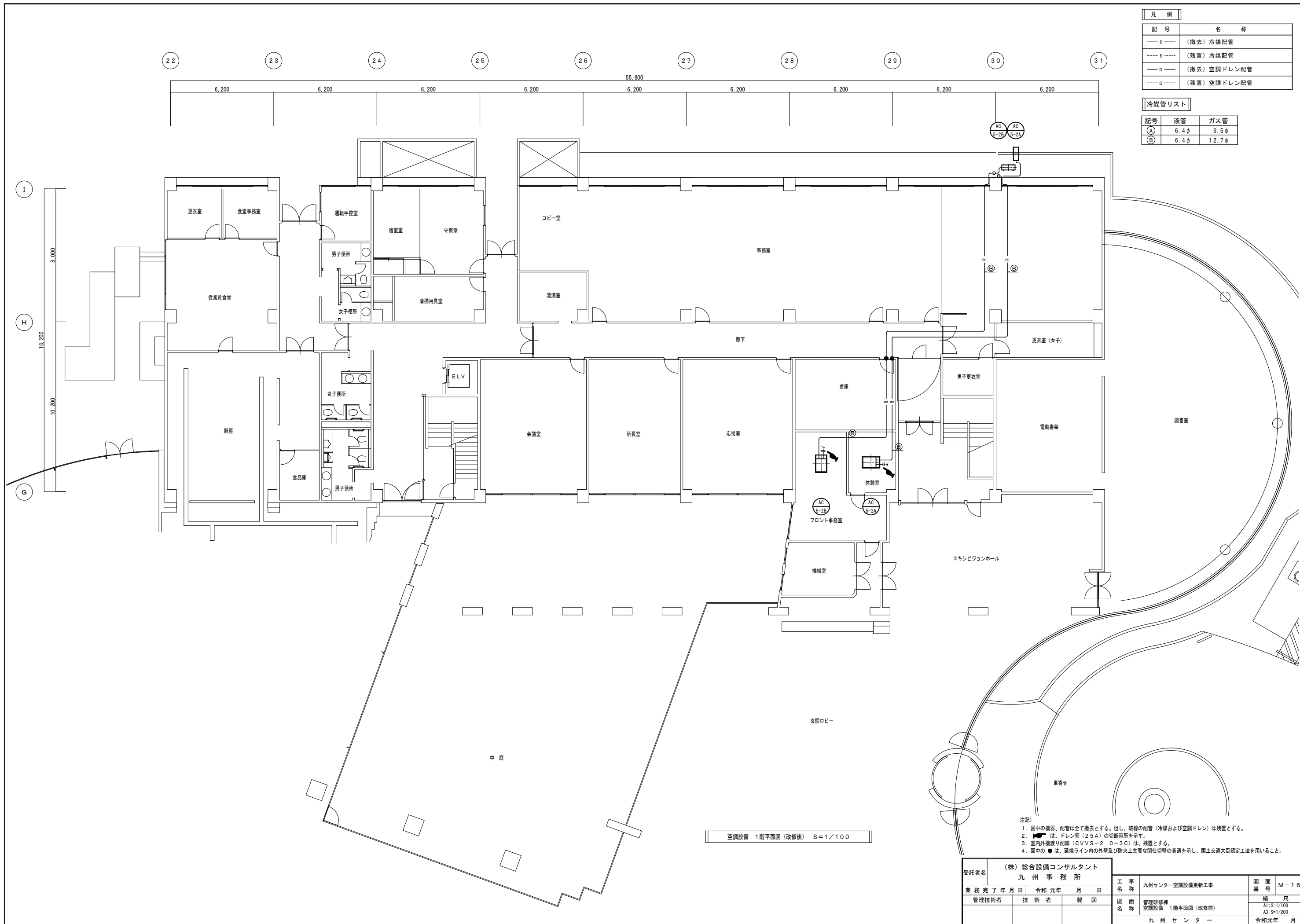
空調設備 1階機械室詳細図 (配管) S=1/30

- 注記)
1. 図中の太線部は本工事範囲を示し、細線部は既設部分を示す。
  2. 25Aは、加湿給水管(25A)の切断箇所を示す。
  3. 室内外機渡り配線(CVVS-1.25-2C)は、残置とする。
  4. 図中の●は、延焼ライン内の外壁及び防火上主要な間仕切壁の貫通を示し、国土交通大臣認定工法とする。

受託者名	(株) 総合設備コンサルタント 九州事務所			工事名	九州センター空調設備更新工事	図面番号	M-15
業務完了年月日	令和元年	月	日	図面名称	宿泊棟 空調設備 1階機械室詳細図 (改修前)	縮尺	A1:S:1/30 A3:S:1/60
管理技術者	技術者	製図		九州センター		令和元年	月

凡例	
記号	名称
— R —	(撤去) 冷媒配管
--- R ---	(残置) 冷媒配管
— D —	(撤去) 空調ドレン配管
--- D ---	(残置) 空調ドレン配管

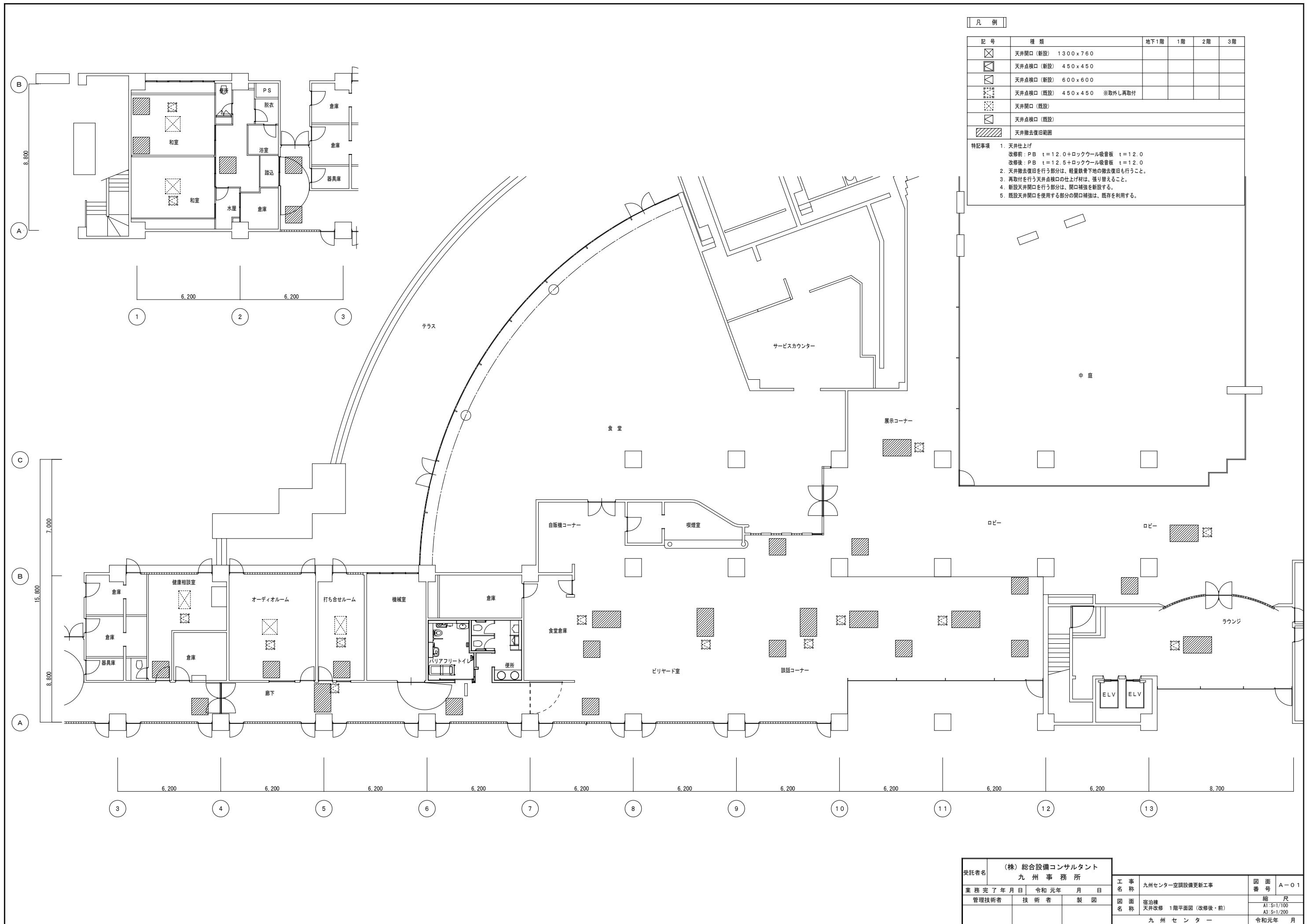
冷媒管リスト		
記号	液管	ガス管
(A)	6.4φ	9.5φ
(B)	6.4φ	12.7φ



空調設備 1階平面図 (改修後) S=1/100

- 注記
1. 図中の機器、配管は全て撤去とする。但し、破線の配管 (冷媒および空調ドレン) は残置とする。
  2. 〇は、ドレン管 (2.5A) の切断箇所を示す。
  3. 室内外機送り配線 (CVVS-2.0-3C) は、残置とする。
  4. 図中の ● は、延焼ライン内の外壁及び防火上主要な間仕切壁の貫通を示し、国土交通大臣認定工法を用いること。

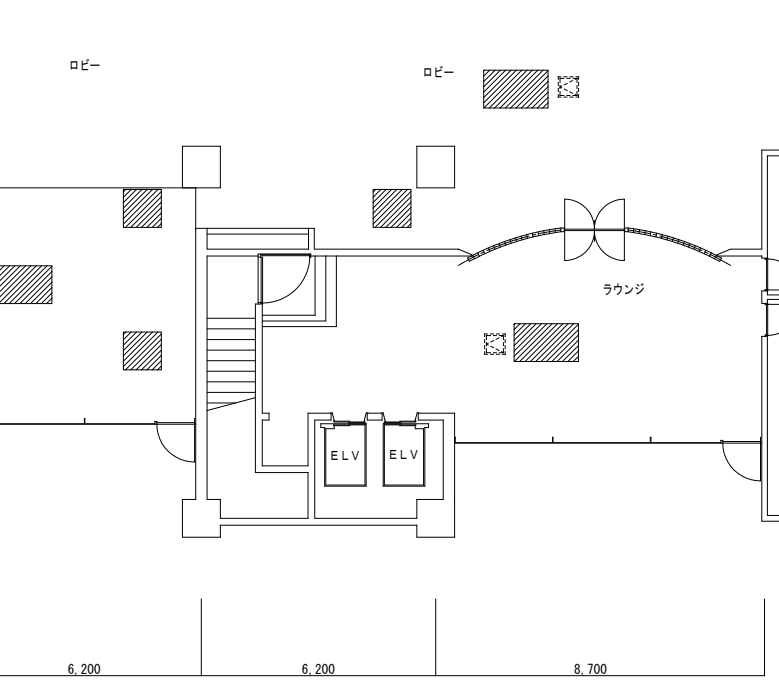
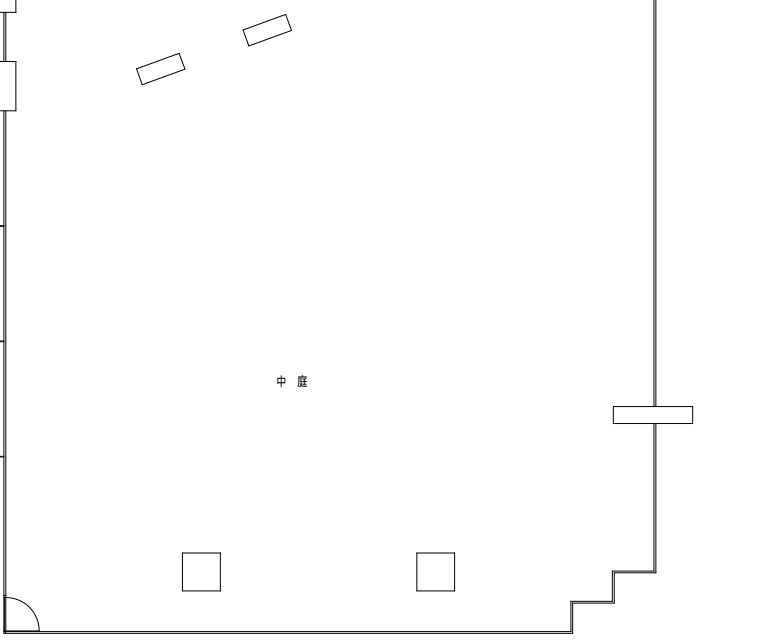
受託者名	(株) 総合設備コンサルタント 九州事務所			工事名	九州センター空調設備更新工事	図面番号	M-16
業務完了年月日	令和元年	月	日	図面名称	管理研修棟 空調設備 1階平面図 (改修前)	縮尺	A1: S=1/100 A3: S=1/200
管理技術者	技術者	製図			九州センター		令和元年 月



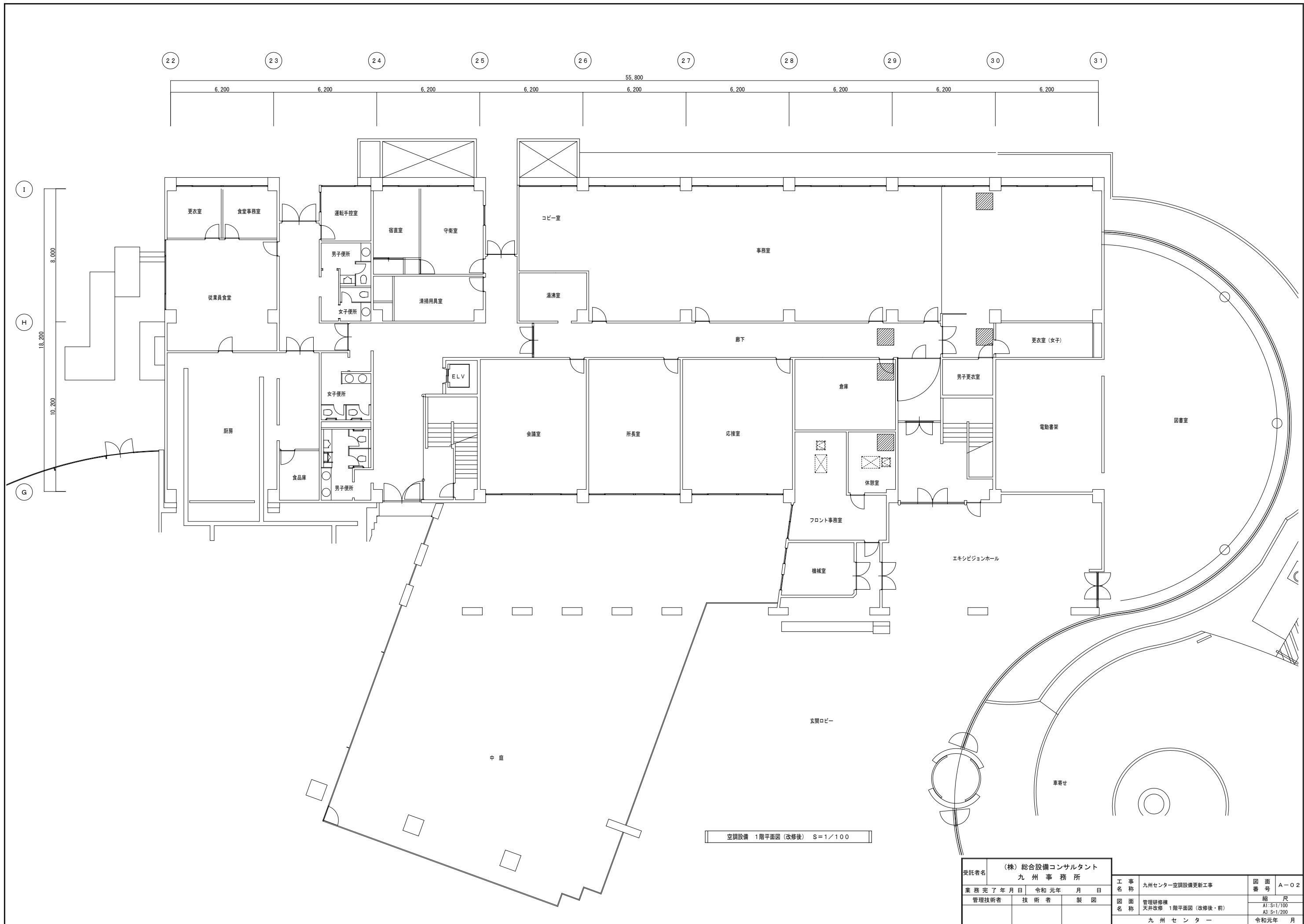
凡例

記号	種類	地下1階	1階	2階	3階
☒	天井開口(新設) 1300x760				
☒	天井点検口(新設) 450x450				
☒	天井点検口(新設) 600x600				
☒	天井点検口(既設) 450x450 ※取外し再取付				
☒	天井開口(既設)				
☒	天井点検口(既設)				
▨	天井撤去復旧範囲				

特記事項  
 1. 天井仕上げ  
 改修前: PB t=12.0+ロックウール吸音板 t=12.0  
 改修後: PB t=12.5+ロックウール吸音板 t=12.0  
 2. 天井撤去復旧を行う部分は、軽量鉄骨下地の撤去復旧も行うこと。  
 3. 再取付を行う天井点検口の仕上げ材は、張り替えること。  
 4. 新設天井開口を行う部分は、開口補強を新設する。  
 5. 既設天井開口を使用する部分の開口補強は、既存を利用する。



受託者名	(株) 総合設備コンサルタント 九州事務所			工事名	九州センター空調設備更新工事	図面番号	A-01
業務完了年月日	令和元年	月	日	図面名称	宿泊棟 天井改修 1階平面図(改修後・前)	縮尺	A1:S:1/100 A3:S:1/200
管理技術者	技術者	製図			九州センター	令和元年	月



空調設備 1階平面図 (改修後) S=1/100

受託者名	(株) 総合設備コンサルタント 九州事務所			図面番号	A-02
業務完了年月日	令和元年	月	日	工事名称	九州センター空調設備更新工事
管理技術者	技術者	製図		図面名称	管理研修棟 天井改修 1階平面図 (改修後・前)
					九州センター

# 電気設備工事特記事項

I. 工事名称 九州センター 空調設備更新工事

## II. 工事概要

1. 総合発注の有無 本工事は、以下の工事を含む。(詳細は、図面参照のこと)

- 機械設備工事

2. 工事場所 福岡県北九州市八幡東区平野2丁目2-1

## 3. 建物概要

建物名称	構造	階数	延面積 (㎡)	防火対象物の種別	備考
管理研修棟	R/C造	地上3階・地下1階			
宿泊棟	R/C造	地上6階			

## 4. 工事種目 (O印を付けたものを適用する)

工事種目	建物別				
	管理研修棟	宿泊棟		屋外	備考
・電灯設備	一式	一式	一式		
O 動力設備	改修一式	改修一式	一式		
・避雷設備	一式	一式	一式		
・受変電設備	一式	一式	一式		
・静止形電源設備	一式	一式	一式		
・発電設備	一式	一式	一式		
・構内情報通信設備	一式	一式	一式		
・構内交換設備	一式	一式	一式		
・情報表示設備	一式	一式	一式		
・映像・音響設備	一式	一式	一式		
・拡声設備	一式	一式	一式		
・誘導支援設備	一式	一式	一式		
・呼出し設備	一式	一式	一式		
・テレビ共同受信設備	一式	一式	一式		
・防犯設備	一式	一式	一式		
・自動火災報知設備	一式	一式	一式		
・中央監視制御設備	一式	一式	一式		
・遠隔量水器設備	一式	一式	一式		
・デマンド監視・制御設備	一式	一式	一式		
・太陽光発電設備	一式	一式	一式		
・	一式	一式	一式		
・構内配電線路	一式	一式	一式	一式	
・構内通信線路	一式	一式	一式	一式	
・	一式	一式	一式		

## III. 工事仕様

### 1 適用仕様等

図面及び特記仕様に記載されていない事項は、以下の仕様書による。

- 「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編 平成31年版)」 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
- 「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編 平成31年版)」 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
- 「公共建築工事標準仕様書(建築工事編 平成31年版)」 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
- 「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編 平成31年版)」 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
- 「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編 平成31年版)」 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
- 「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編 平成31年版)」 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
- 「公共住宅建設工事共通仕様書(平成25年版)」 国土交通省住宅局住宅総合整備課監修

年度内に最新版が発行された場合は、最新版に準じる。

ただし、改定内容で発注仕様の変更又は工事価格の変更が生じる場合は、県担当者との協議すること。

### 2 補足基準等

適用仕様等、図面及び特記仕様に記載されていない事項は、以下の基準、指針、要領、標準図等による。

- 「公共建築設備工事標準図(電気設備工事編 平成31年版)」 国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修
- 「公共建築設備工事標準図(機械設備工事編 平成31年版)」 国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修
- 「建築工事標準詳細図(建築工事編 平成31年版)」 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修
- 「電気設備工事監理指針(令和元年版)」 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
- 「機械設備工事監理指針(令和元年版)」 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
- 「建築工事監理指針(令和元年版)」 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
- 「建築改修工事監理指針(令和元年版)」 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
- 「建築設備耐震設計・施工指針(2014年版)」 独立行政法人 建築研究所監修
- 「建築工事安全施工技術指針・同解説」 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修
- 「建設廃棄物処理指針」 厚生労働省生活衛生局
- 「建築物解体等に係るアスベスト飛散防止対策マニュアル」 環境省大気保全局(環境省アスベスト飛散防止対策研究会)

(12) 「建築工事の手引き」 福岡県建築都市部編集

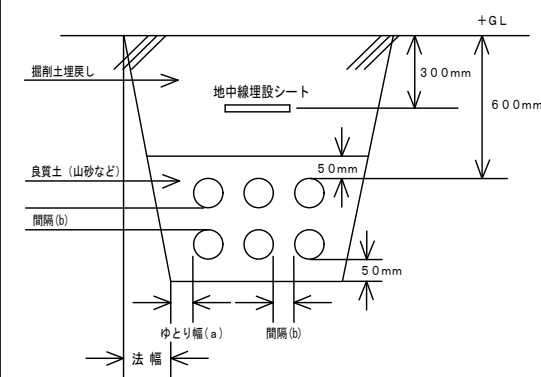
年度内に最新版が発行された場合は、最新版に準じる。

ただし、改定内容で発注仕様の変更、又は工事価格の変更が生じる場合は、県担当者との協議すること。

## 3 特記仕様

- 項目は、O印のついたものを適用する。
- 特記事項のうち選択する事項は、O印のついたものを適用する。

項目	特記事項																													
① 機材	この工事に使用する機材は、監督職員の承諾を受ける。 なお、材料及び製品については、地域産材の使用に努めること。 また、機材の選定に当たっては、グリーン購入法に適合したものを優先すること。																													
② 電気工作物	・ 一般用電気工作物 <input checked="" type="radio"/> 事業用電気工作物																													
③ 電気保安技術者	事業用電気工作物に係る工事においては、電気保安技術者を置くものとする。																													
④ 工事に必要な資格(建設業法に関するものを除く)	<input checked="" type="radio"/> 第1種電気工事士 ・ 第2種電気工事士(もしくは上位資格) ・ 特種電気工事資格者(非常用予備発電装置) ・ 工事担任者 第 種(もしくは上位資格) ・ 消防設備士甲種 4 類 ・ あと施工アンカー第 種施工士(もしくは上位資格)																													
⑤ 官公庁その他への手続き	この工事に必要な官公署その他の関係機関への諸手続等は、これに必要な資機材、労務、及び費用を請負者の負担にて速やかにおこない、その検査に合格すること。																													
⑥ 工事用電力・水その他	本工事に必要な工事用電力(仮設電力及び試運転調整用電力等を含む)・水及び諸手続等の費用は、すべて請負者の負担とする。																													
7. 残土処分	・ 構内指示の場所に敷均し ・ 構内指示の場所に堆積 ・ 構外搬出適切処理																													
⑧ 他工事との取合い	・ 施工区分表による <input checked="" type="radio"/> 図面詳細による																													
9. 再使用機器	取外し再使用機器は、原則として清掃並びに絶縁抵抗測定を取外し前後で行った後、取り付けること。但し、絶縁劣化等再使用に耐えない場合は、監督職員に報告すること。																													
⑩ 耐震施工	設備機器の固定は、すべて「建築設備耐震設計・施工指針」(2014年版)によるものとする。 (1) 設計用標準震度(Ks) 機器毎の耐震安全性の分類及び設置場所により以下表より求める。 <table border="1"><thead><tr><th rowspan="2">設置場所</th><th colspan="4">耐震安全性の分類</th></tr><tr><th colspan="2">特定の施設</th><th colspan="2">一般の施設</th></tr><tr><th></th><th>重要機器</th><th>一般機器</th><th>重要機器</th><th>一般機器</th></tr></thead><tbody><tr><td>上階階、屋上及び塔屋(2.0)</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td>中間階(1.5)</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td>地階及び1階(1.0)</td><td>1.0</td><td>0.6</td><td>0.6</td><td>0.4</td></tr></tbody></table> <p>( ) 書きの数値は防振支持の機器の場合に適用する。</p> <p>(2) 耐震安全性の分類 <input checked="" type="radio"/> 特定の施設 ・ 一般の施設</p> <p>(3) 地域係数(Z) 地域係数(Z)は、1.0とする。</p>	設置場所	耐震安全性の分類				特定の施設		一般の施設			重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上階階、屋上及び塔屋(2.0)	2.0	1.5	1.5	1.0	中間階(1.5)	1.5	1.0	1.0	0.6	地階及び1階(1.0)	1.0	0.6	0.6	0.4
設置場所	耐震安全性の分類																													
	特定の施設		一般の施設																											
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																										
上階階、屋上及び塔屋(2.0)	2.0	1.5	1.5	1.0																										
中間階(1.5)	1.5	1.0	1.0	0.6																										
地階及び1階(1.0)	1.0	0.6	0.6	0.4																										
11. 合成樹脂製可とう電線管	環境対応型合成樹脂製可とう管(PF管)の一要管とする。なお、打込配管として使用する場合、原則として呼び径を22までとする。 また鉄筋等への結束には樹脂被覆を施したバンド線を用いること。																													
12. プレートの材質	・ 金属製(防水形配線器具を除く) ・ 樹脂製																													
13. フロアプレート	ベースは、水平高低調整付(空転防止リング付)とする。 ・ 砲金製 ・ アルミ製																													
14. ハイテンション	・ 上下動形 ・ 外部固定形 ・ 内部固定形																													
15. 露出配管等の塗装	屋内においては特記がなければ、F☆☆☆☆製品とし、屋外においても低VOC塗料の使用に努めること。																													
16. 呼び線	長さ 1m 以上の入線しない電線管には電線太さ 1.2mm 以上の樹脂被覆鉄線を挿入する。																													
17. 表示	スイッチ・コンセント及びプルボックスで用途の判別し難いものは、表示する。																													
18. 地中埋設シート	地下埋設の線路には、標識シートを2倍長さ上重ね合わせて布設するものとする。																													
19. 地中埋設標	電力用(矢指色:赤色) ・ 樹脂製 ・ コンクリート製 ・ 鉄製 通信用(矢指色:黄色) ・ 樹脂製 ・ コンクリート製 ・ 鉄製																													
20. 地中埋設配管(GL-600の場合)	接地の種別 記号 接地抵抗値 接地極 ・ 共同 E <sub>A-C-D</sub> Ω以下 ・ 共同 E <sub>A-D</sub> Ω以下 ・ A 種 E <sub>A</sub> 10Ω以下 ・ B 種 E <sub>B</sub> Ω以下 ・ C 種 E <sub>C</sub> 10Ω以下 ・ D 種 E <sub>D</sub> 100Ω以下 EB ( ) φ × 1 (L=1,500mm) ・ 避雷設備 E <sub>L</sub> 10Ω以下 ・ 高圧避雷器 E <sub>LH</sub> 10Ω以下 ・ 低圧避雷器 E <sub>LL</sub> 10Ω以下 ・ 交換機用 E <sub>L</sub> 10Ω以下 ・ 通信用 E <sub>K</sub> 10Ω以下 ・ 通信用 E <sub>CL</sub> 100Ω以下 EB (10) φ × 1 (L=1,500mm) ・ 測定用 E <sub>O</sub> EB (10) φ × 1 (L=1,500mm) 避雷設備の接地抵抗値は、総合抵抗とする。 本工事における構内交換設備の工事範囲は、以下のとおりとする。 ・ 構内交換装置 ・ 電話機取付け (台) ・ 配管配線まで本工事 ・ 配管のみ本工事 ・ 配線のみ本工事 電話機1台につき次のものを見込む。 ・ T1VF(T1VE) 0.65-2C m ・ EM-T1EF(T1EE) 0.65-2C m ・ EB1T 0.4-2P m ・ EM-BT1EE 0.4-2P m ・ 2号ワイヤプロテクタ m 本工事における構内情報通信網設備の工事範囲は、以下のとおりとする。 ・ 構内情報通信網装置 ・ ネットワーク管理装置 ・ 配管配線まで本工事 ・ 配管のみ本工事 LANケーブルの色 ・ 幹線LAN:赤色 ・ 枝線LAN:黄色 ・ 生徒LAN:水色 ・ 認証ネットワーク:指定なし ・ その他:指定なし 機器と配線の接続 拡声設備において、増幅器などの入出力路と配線との接続は、コネクタなどを取付けて行うこと。																													



・ 根切り深さが1.5m未満の場合は直掘工法とし、1.5m以上の場合には法付工法とする。  
法付工法の法幅は、根切り深さに0.3を乗じたものとする。  
・ 床幅は、埋設管類などの外径(底面)の寸法にゆとり幅×2を加えたものとする。  
ゆとり幅(a)及び埋設管相互の間隔(b)は、下表を参照のこと。

ゆとり幅(a)	根切り深さ 1m未満	根切り深さ 1以上1.5m未満	根切り深さ 1.5m以上	埋設管の 呼び径	間隔(b)
地中電線管類	0.2m	0.4m	0.3m	50以下	50mm
地下埋設物	0.5m	0.5m	0.5m	150# 70mm (左右・上下)	200# 100mm

強電配線・弱電配線・その他配管について、定められた間隔を考慮すること。  
多束敷設により埋設管同士を密着させる場合は、「JIS C 3653(附属書含む)」及び「電気設備に関する技術基準を定める省令」における関連事項に適合した資材の使用、及び施工を行うこと。  
また、電線相互の接近により誘導障害が生じるおそれがある場合は、多束敷設は行わないこと。

接地極の材料は下表による。接地極の近くに接地極埋設標90×140×1.5t(黄銅製・刻印)を設置すること。なお、接地極 EB(14)φの長さは1,500mm以上とし、10φ×14φは、W=40として差し支えない。

接地の種別	記号	接地抵抗値	接地極
・ 共同	E <sub>A-C-D</sub>	Ω以下	
・ 共同	E <sub>A-D</sub>	Ω以下	
・ A 種	E <sub>A</sub>	10Ω以下	
・ B 種	E <sub>B</sub>	Ω以下	
・ C 種	E <sub>C</sub>	10Ω以下	
・ D 種	E <sub>D</sub>	100Ω以下	EB ( ) φ × 1 (L=1,500mm)
・ 避雷設備	E <sub>L</sub>	10Ω以下	
・ 高圧避雷器	E <sub>LH</sub>	10Ω以下	
・ 低圧避雷器	E <sub>LL</sub>	10Ω以下	
・ 交換機用	E <sub>L</sub>	10Ω以下	
・ 通信用	E <sub>K</sub>	10Ω以下	
・ 通信用	E <sub>CL</sub>	100Ω以下	EB (10) φ × 1 (L=1,500mm)
・ 測定用	E <sub>O</sub>		EB (10) φ × 1 (L=1,500mm)

避雷設備の接地抵抗値は、総合抵抗とする。

本工事における構内交換設備の工事範囲は、以下のとおりとする。  
・ 構内交換装置 ・ 電話機取付け (台)  
・ 配管配線まで本工事 ・ 配管のみ本工事 ・ 配線のみ本工事

電話機1台につき次のものを見込む。  
・ T1VF(T1VE) 0.65-2C m ・ EM-T1EF(T1EE) 0.65-2C m  
・ EB1T 0.4-2P m ・ EM-BT1EE 0.4-2P m  
・ 2号ワイヤプロテクタ m

本工事における構内情報通信網設備の工事範囲は、以下のとおりとする。  
・ 構内情報通信網装置 ・ ネットワーク管理装置 ・ 配管配線まで本工事  
・ 配管のみ本工事

LANケーブルの色  
・ 幹線LAN:赤色 ・ 枝線LAN:黄色 ・ 生徒LAN:水色  
・ 認証ネットワーク:指定なし ・ その他:指定なし

機器と配線の接続  
拡声設備において、増幅器などの入出力路と配線との接続は、コネクタなどを取付けて行うこと。

27. インターロック	自動火災報知設備において、感知器が作動した場合に受信機及び運動制御機と連動して空調機並びに送排風機を停止させる。
28. ガス漏れ警報装置受信機	・ 単独 (・ 自立形 ・ 壁掛形)
29. ガス漏れ警報装置検知器	・ 液化石油ガス用 ・ 都市ガス用
30. 防犯設備工事範囲	・ 配管のみ本工事 ・ 機器取付調整まで本工事
31. 躯体貫通場所	躯体貫通箇所においては探査機を使用し、コンクリート内配筋を避け貫通すること。
32. 発電機回路コンセント	発電機回路に接続されるコンセントは、回路種別が識別できるものとする。
33. マンホールハンドホール蓋	蓋中央部に県章を刻印すること。また、用途別に「高圧」「電気」「弱電」の刻印をすること。
34. プルボックス	屋外に設置するものには、事前に水抜き穴を設けること。
⑮ 建築副産物の処理について	資源の有効利用・環境負荷の低減等を図り、「資源循環型社会」を構築するため、建設副産物の発生抑制・再利用・適正処理を推進する。 現場内で発生する建設副産物の処理については、現場内において発生する品目ごとに分別保管場所を設置し集積すること。 また、「再生資源の利用の促進に関する法律」・「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」・「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び建設廃棄物処理指針その他関係諸法令等によるほか、建設副産物適正処理推進要綱に従い、指定された方法により適正に処理を行うこと。 工事に際しては、工事着手時に「建設副産物処理計画書」、工事竣工時に「建設副産物処理結果報告書」(共に添付書類を含む)を提出すること。

指定副産物(原則として、再資源化施設へ持込むもの)	その他の副産物
・ がれき類(コンクリート塊) (アスファルトコンクリート塊) ・ 木くず ・ 建設発生土 ・ 汚泥	・ 廃プラスチック(コンクリート塊) ・ ガラス・陶磁器くず ・ 廃石こうボード ・ 金属くず ・ 繊維くず

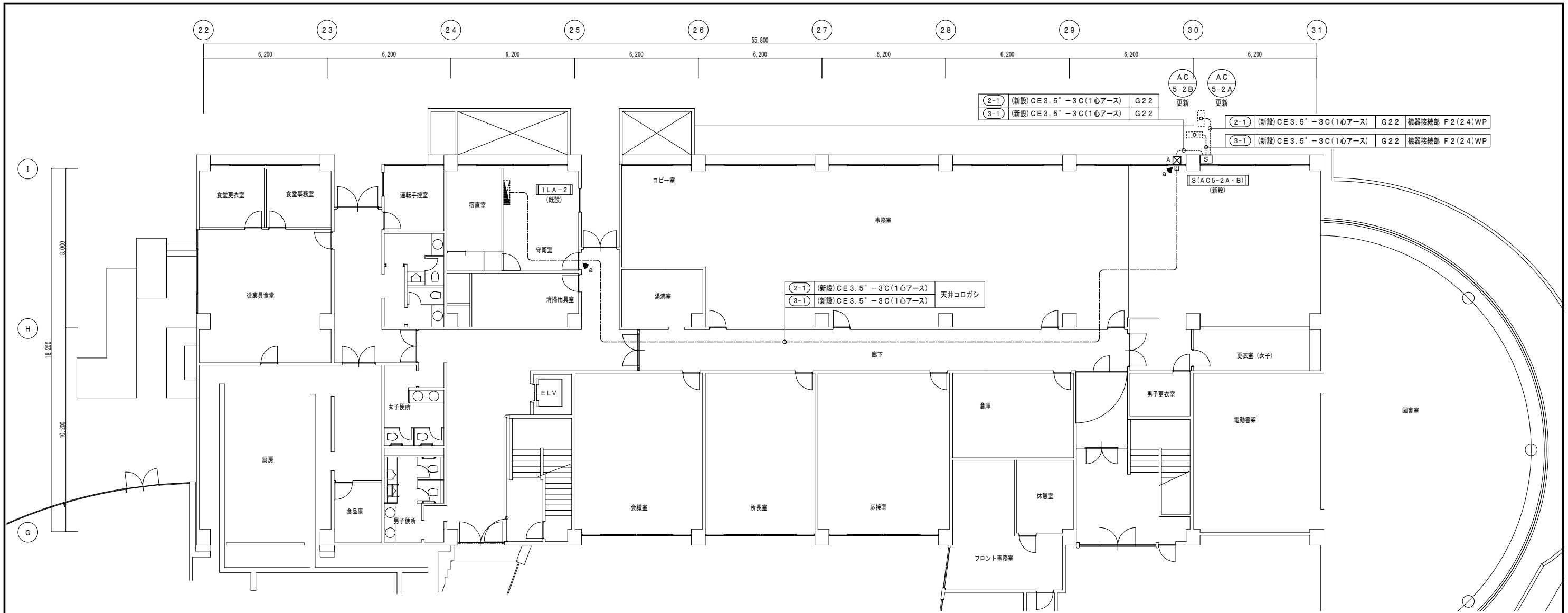
特別管理産業廃棄物  
・ 廃石綿等  
「建築物の解体等に係る石綿飛散防止対策マニュアル」(環境省大気保全局)に従い、収集・運搬・処分を行うこと。

・ 廃PCB等  
「電気事業法:電気関係報告規則」及び「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」に従い、報告書の作成・届出を行うとともに、適切に保管できるようにして施設管理者に引き渡すこと。

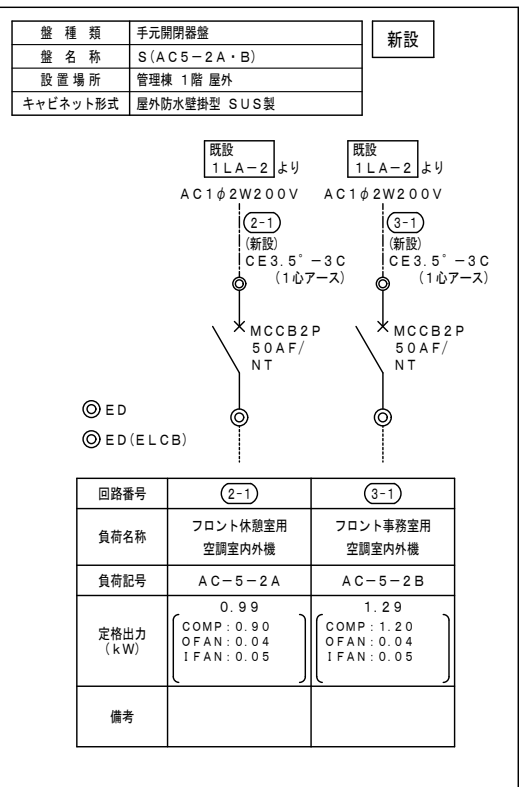
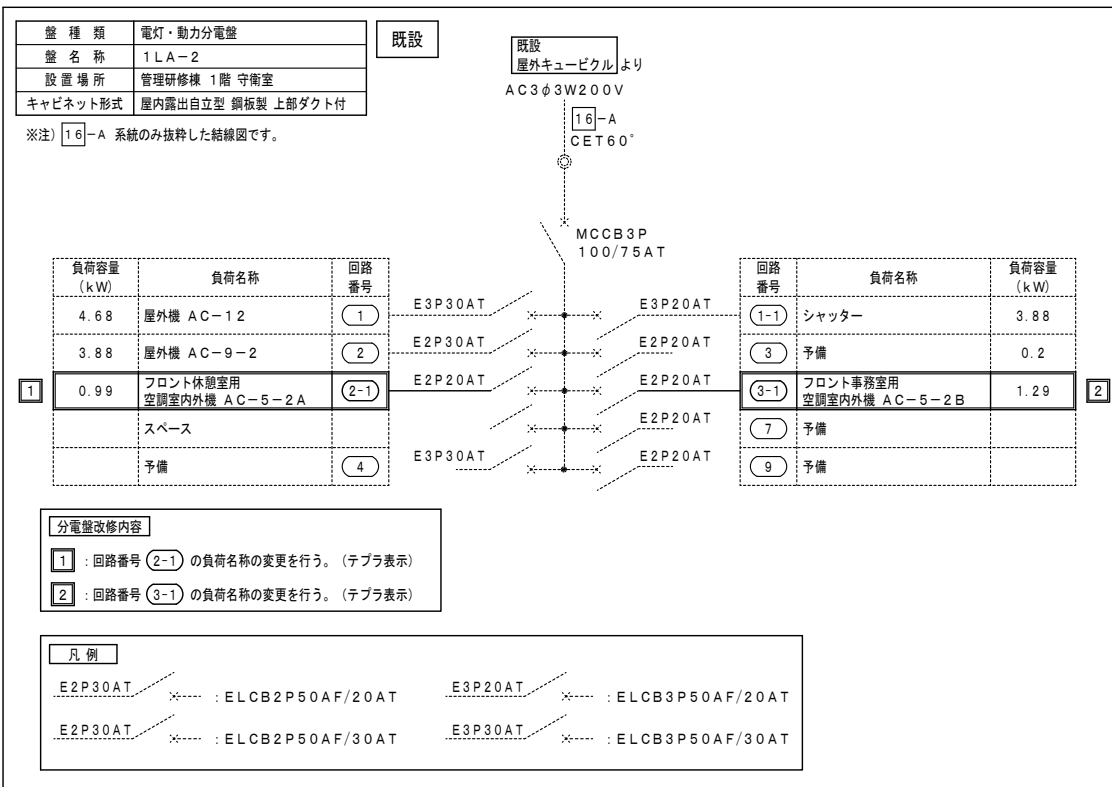
※ 参考受入場所は、現場説明書による。

建築副産物の処理内容	
処理内容	備考
現場内における分別	
現場内分別保管場所の設置	
現場内分別保管場所までの運搬	
分別保管場所からの積み込み・運搬・処分	
「建設副産物の処理計画書」の作成	下請工事の場合は不要
「建設副産物の処理結果報告書」の作成	下請工事の場合は不要
「再生資源利用計画書」の作成	下請工事の場合は不要
「再生資源利用実施書」の作成	下請工事の場合は不要

36. その他			
受託者名	(株)総合設備コンサルタント		
	九州事務所		
業務完了年月日	令和2年	月	日
管理技術者	技術者	製図	
工事名称	九州センター 空調設備更新工事	図面番号	E-02
図面名称	電気工事 特記事項	縮尺	-
	九州センター	令和	年 月



管理研修棟 動力設備(空調電源) 1階平面図 (改修後) A1:S=1/100  
A3:S=1/200



記号	名称・仕様
	電灯動力分電盤: 既設
	手元開閉器盤: 新設
	手元開閉器盤: 既設
	アウトレットボックス
	プルボックス: 新設 SS150×150×150 (SUS・WP)
	プルボックス: 新設 SS300×300×200 (SUS・WP)
	コンクリート壁貫通補修: 壁厚200mm 径28φ
	コンクリート壁貫通補修: 壁厚200mm 径63φ
	コンクリート壁貫通補修: 壁厚200mm 径63φ 防火区画貫通処理含む
	ケーブルこころし配線
	露出配管配線

**注 記**

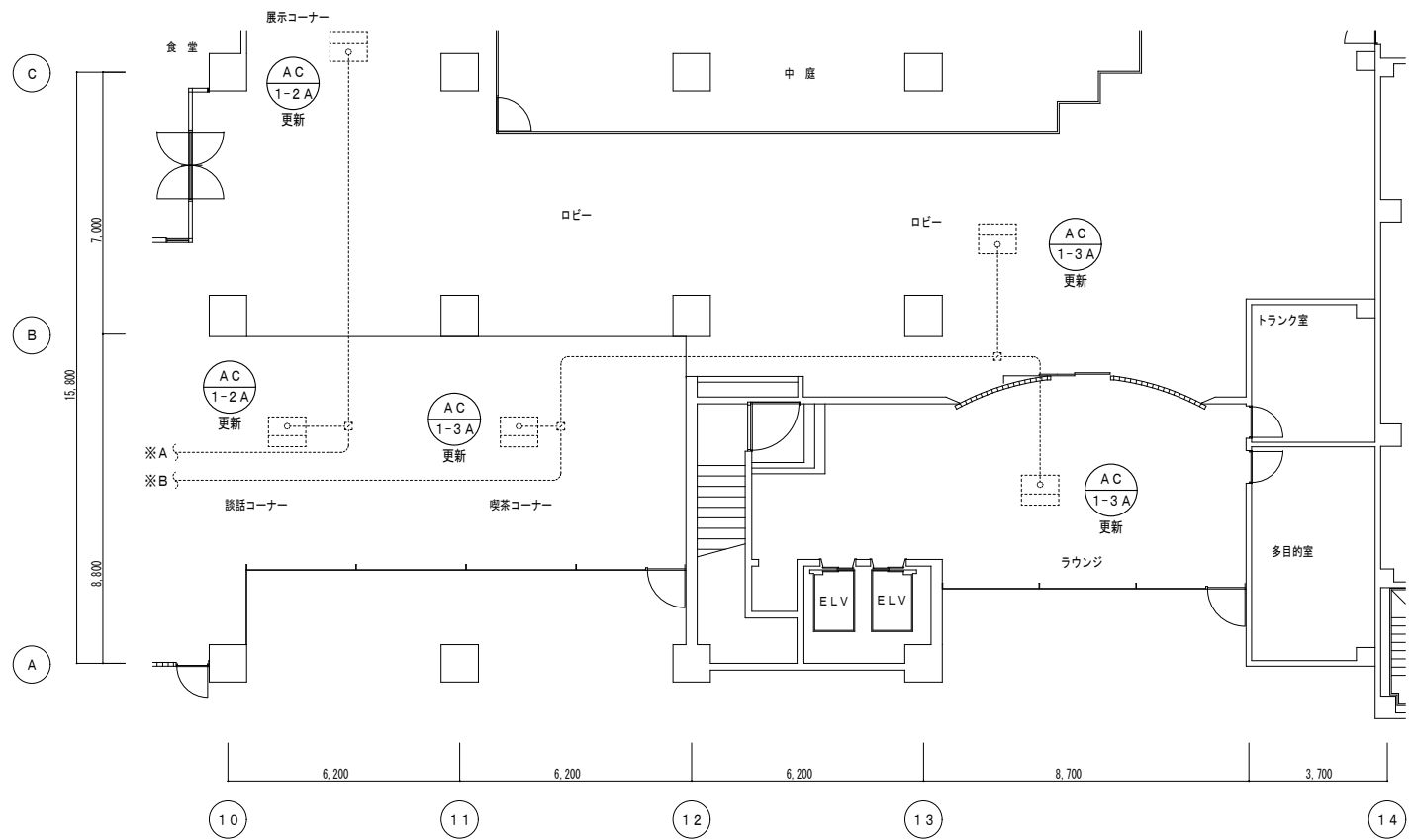
1. 図中、薄点線部分は既設を示す。

2. 屋外露出部分の厚鋼電線管 (G管) は溶融亜鉛メッキ仕上げとする。

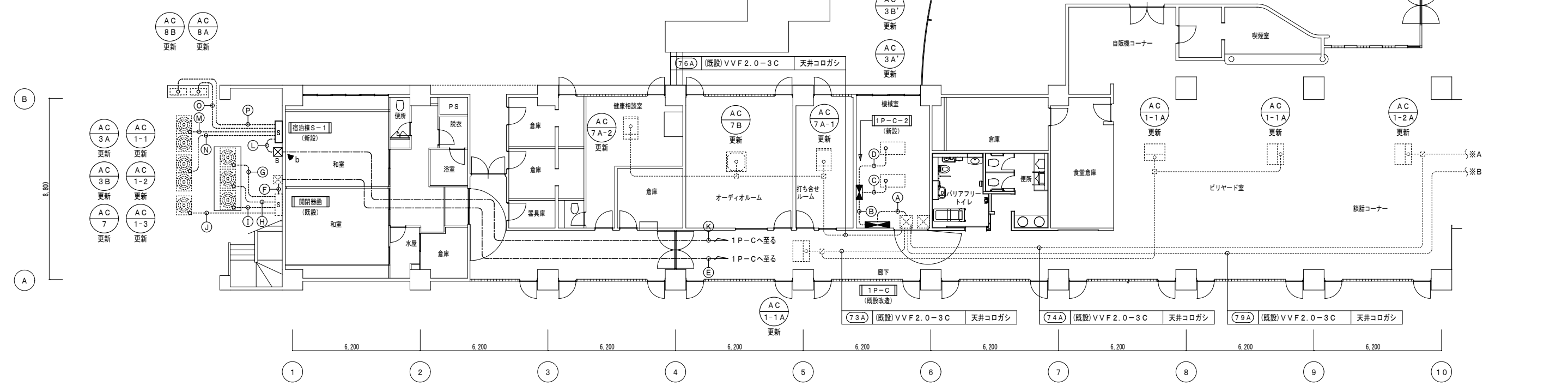
受託者名	(株) 総合設備コンサルタント 九州事務所			工 事 名 称	九州センター 空調設備更新工事	図 面 番 号	E-02
業務完了年月日	令和 2年 月 日			図 面 名 称	管理研修棟 動力設備(空調電源) 1階平面図 (改修後)	縮 尺 A1:S=1/100 A3:S=1/200	
管理技術者	技 術 者	製 図		九州センター		令和 年 月	



ケーブルリスト		区間	配線サイズ	天井内 コロガシ	屋内露出 配管	屋外露出 配管	保護管	機器接続部	備考
記号	自	至							
A	動力盤 1P-C (既設改造)	空調室内機 AC-1-1A (新設)	(既設) VVF2.0-3C				(既設) E75	-	空調室内機電源 (73A)
	動力盤 1P-C (既設改造)	空調室内機 AC-1-2A (新設)	(既設) VVF2.0-3C						空調室内機電源 (74A)
	動力盤 1P-C (既設改造)	空調室内機 AC-1-3A (新設)	(既設) VVF2.0-3C						空調室内機電源 (79A)
	動力盤 1P-C (既設改造)	空調室内機 AC-7A-1・2・7B (新設)	(既設) VVF2.0-3C						空調室内機電源 (76A)
	動力盤 1P-C (既設改造)	開閉器 (既設)	(新設) CET38'E8'						空調室外機 (AC-1-1) 電源 (72A)
	動力盤 1P-C (既設改造)	開閉器 (既設)	(新設) CET38'						空調室外機 (AC-1-2) 電源 (71A)
	動力盤 1P-C (既設改造)	開閉器 (既設)	(新設) CET38'						空調室外機 (AC-1-3) 電源 (78A)
	動力盤 1P-C (既設改造)	開閉器 (既設)	(新設) CE8'-3C						空調室外機 (AC-7) 電源 (75A)
	動力盤 1P-C (既設改造)	宿泊棟S-1 (新設)	(新設) CET38'E5.5' x 2						空調室外機 (AC-3A・B) 電源 (75B)
	動力盤 1P-C (既設改造)	宿泊棟S-1 (新設)	(新設) CE3.5'-2C						空調室内外機 (AC-8A) 電源 (72B)
B	動力盤 1P-C (既設改造)	宿泊棟S-1 (新設)	(新設) CE3.5'-2C						空調室内外機 (AC-8B) 電源 (73B)
	動力盤 1P-C (既設改造)	動力盤 1P-C-2 (新設)	(新設) IE8' x 3 E5.5' x 2				(新設) E31	-	空調室内機 (AC-3A'・B') 電源 (71B)
C	動力盤 1P-C-2 (新設)	空調室内機 AC-3A' (新設)	(新設) IE2.0x3 E2.0				(新設) E25	(新設) F(24)	空調室内機 (AC-3A') 電源 (71B1)
D	動力盤 1P-C-2 (新設)	空調室内機 AC-3B' (新設)	(新設) IE2.0x3 E2.0				(新設) E25	(新設) F(24)	空調室内機 (AC-3B') 電源 (71B2)
E	動力盤 1P-C (既設改造)	開閉器 (既設)	(新設) CET38'E8'						空調室外機 (AC-1-1) 電源 (72A)
	動力盤 1P-C (既設改造)	開閉器 (既設)	(新設) CET38'						空調室外機 (AC-1-2) 電源 (71A)
	動力盤 1P-C (既設改造)	開閉器 (既設)	(新設) CET38'						空調室外機 (AC-1-3) 電源 (78A)
	動力盤 1P-C (既設改造)	開閉器 (既設)	(新設) CE8'-3C						空調室外機 (AC-7) 電源 (75A)
F	動力盤 1P-C (既設改造)	開閉器 (既設)	(新設) CET38'E8'				(既設) G42	-	空調室外機 (AC-1-1) 電源 (72A)
	動力盤 1P-C (既設改造)	開閉器 (既設)	(新設) CET38'				(既設) G42	-	空調室外機 (AC-1-2) 電源 (71A)
	動力盤 1P-C (既設改造)	開閉器 (既設)	(新設) CET38'				(既設) G42	-	空調室外機 (AC-1-3) 電源 (78A)
	動力盤 1P-C (既設改造)	開閉器 (既設)	(新設) CE8'-3C				(既設) G28	-	空調室外機 (AC-7) 電源 (75A)
G	開閉器 (既設)	空調室外機 AC-1-1 (新設)	(新設) CET22'E5.5'				(新設) G36	(新設) F(238)WP	空調室外機 (AC-1-1) 電源 (72A)
H	開閉器 (既設)	空調室外機 AC-1-2 (新設)	(新設) CET22'E5.5'				(新設) G36	(新設) F(238)WP	空調室外機 (AC-1-2) 電源 (71A)
I	開閉器 (既設)	空調室外機 AC-1-3 (新設)	(新設) CET22'E5.5'				(新設) G36	(新設) F(238)WP	空調室外機 (AC-1-3) 電源 (78A)
J	開閉器 (既設)	空調室外機 AC-7 (新設)	(新設) CE5.5'-4C				(新設) G28	(新設) F(230)WP	空調室外機 (AC-7) 電源 (75A)
K	動力盤 1P-C (既設改造)	宿泊棟S-1 (新設)	(新設) CET38'E5.5' x 2						空調室外機 (AC-3A・B) 電源 (75B)
	動力盤 1P-C (既設改造)	宿泊棟S-1 (新設)	(新設) CE3.5'-2C						空調室内外機 (AC-8A) 電源 (72B)
	動力盤 1P-C (既設改造)	宿泊棟S-1 (新設)	(新設) CE3.5'-2C						空調室内外機 (AC-8B) 電源 (73B)
	動力盤 1P-C (既設改造)	宿泊棟S-1 (新設)	(新設) CET38'E5.5' x 2				(新設) G42	-	空調室外機 (AC-3A・B) 電源 (75B)
L	動力盤 1P-C (既設改造)	宿泊棟S-1 (新設)	(新設) CE3.5'-2C				(新設) G22	-	空調室内外機 (AC-8A) 電源 (72B)
	動力盤 1P-C (既設改造)	宿泊棟S-1 (新設)	(新設) CE3.5'-2C				(新設) G22	-	空調室内外機 (AC-8B) 電源 (73B)
M	宿泊棟S-1 (新設)	空調室外機 AC-3A (新設)	(新設) CET22'E5.5'				(新設) G36	(新設) F(238)WP	空調室外機 (AC-3A) 電源 (75B1)
N	宿泊棟S-1 (新設)	空調室外機 AC-3B (新設)	(新設) CET22'E5.5'				(新設) G36	(新設) F(238)WP	空調室外機 (AC-3B) 電源 (75B2)
O	宿泊棟S-1 (新設)	空調室内外機 AC-8A (新設)	(新設) CE3.5'-3C				(新設) G22	(新設) F(224)WP	空調室内外機 (AC-8A) 電源 (72B)
P	宿泊棟S-1 (新設)	空調室内外機 AC-8B (新設)	(新設) CE3.5'-3C				(新設) G22	(新設) F(224)WP	空調室内外機 (AC-8B) 電源 (73B)



機器番号	台数	部屋名称	電源用分電盤	回路番号	工事内容
AC-1-1A	3	廊下、ピリヤード室	1P-C	73A	既設電源ケーブル(VVF2.0-3C)を機器に再接続
AC-1-2A	3	談話コーナー、展示コーナー	1P-C	74A	既設電源ケーブル(VVF2.0-3C)を機器に再接続
AC-1-3A	3	喫茶コーナー、ロビー、ラウンジ	1P-C	79A	既設電源ケーブル(VVF2.0-3C)を機器に再接続
AC-7A-1	1	打ち合せルーム	1P-C	76A	既設電源ケーブル(VVF2.0-3C)を機器に再接続
AC-7A-2	1	健康相談室	1P-C	76A	既設電源ケーブル(VVF2.0-3C)を機器に再接続
AC-7B	1	オーディオルーム	1P-C	76A	既設電源ケーブル(VVF2.0-3C)を機器に再接続

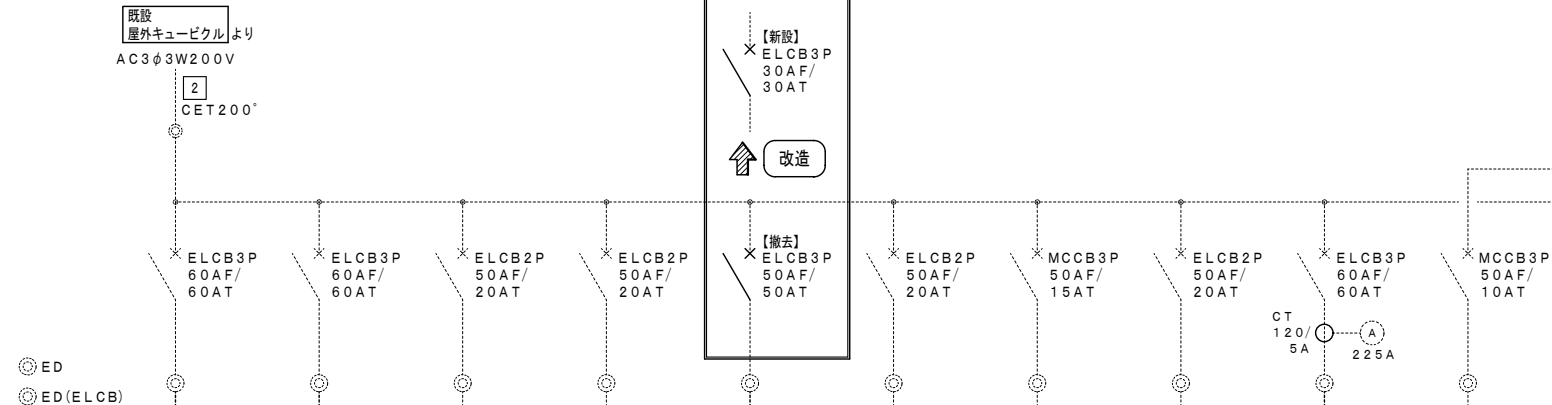


宿泊棟 動力設備(空調電源) 1階平面図 (改修後) A1:S=1/100 A3:S=1/200

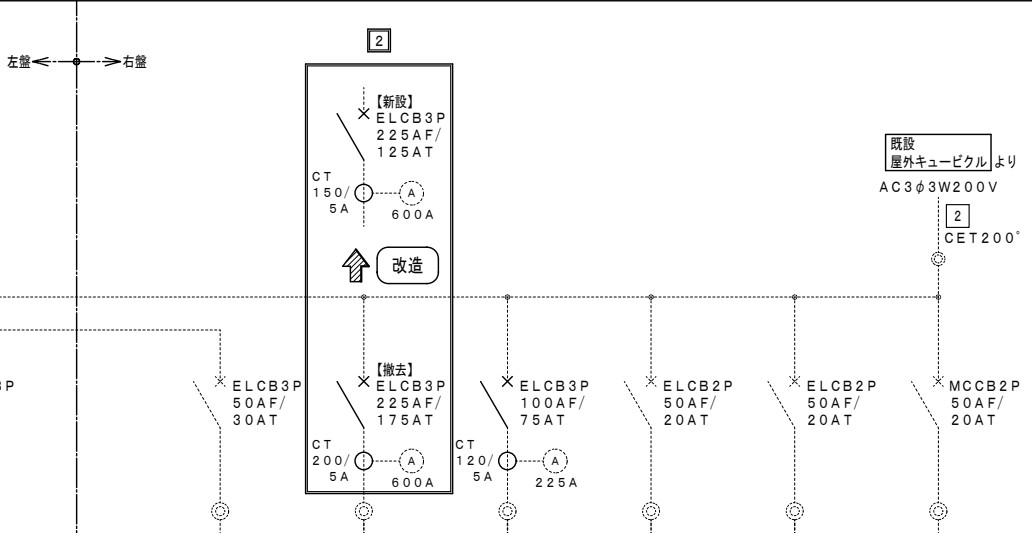
受託者名	(株) 総合設備コンサルタント 九州事務所			図面番号	E-03
業務完了年月日	令和2年	月	日	図面名称	宿泊棟 動力設備(空調電源) 1階平面図 (改修後)
管理技術者	技術者	製図		図面尺	A1:S=1/100 A3:S=1/200
				名称	九州センター
				令和	年 月

盤種類	動力分電盤
盤名称	1P-C
設置場所	宿泊棟 1階 機械室
キャビネット形式	屋内露出自立型 鋼板製 2面体

既設改造



回路番号	71A	72A	73A	74A	75A	76A	77A	79A	78A	76B
負荷名称	1階ラウンジ系統 空調室外機 (屋外 開閉器用)	1階ラウンジ系統 空調室外機 (屋外 開閉器用)	1階ラウンジ系統 空調室内機	1階ラウンジ系統 空調室内機	1階ビデオルーム系統 空調室外機 (屋外 開閉器用)	1階ビデオルーム系統 空調室内機	シャッター 売店	1階ラウンジ系統 空調室内機	1階ラウンジ系統 空調室外機 (屋外 開閉器用)	多回路エネルギー モニター
負荷記号	AC-1-2	AC-1-1	AC-1-1A	AC-1-2A	AC-7	AC-7A・B	-	AC-1-3A	AC-1-3	-
定格出力 (kW)	11.16 COMP: 10.7 OFAN: 0.46 IFAN: -	11.16 COMP: 10.7 OFAN: 0.46 IFAN: -	0.732 COMP: - OFAN: - IFAN: 0.244×3	0.732 COMP: - OFAN: - IFAN: 0.732	4.12 COMP: 3.77 OFAN: 0.35 IFAN: 0.05×3	0.15 COMP: - OFAN: - IFAN: 0.15	0.2	0.732 COMP: - OFAN: - IFAN: 0.732	11.16 COMP: 10.7 OFAN: 0.46 IFAN: -	-
備考	空調室外機更新 (今回工事対象)	空調室外機更新 (今回工事対象)	空調室内機更新 (今回工事対象)	空調室内機更新 (今回工事対象)	空調室外機更新 (今回工事対象)	空調室内機更新 (今回工事対象)	既設機器	空調室内機更新 (今回工事対象)	空調室外機更新 (今回工事対象)	既設機器



回路番号	78AA	75B	71B	72B	73B	74B
負荷名称	全熱交換機	1階食堂系統 空調室外機 (屋外 宿泊棟S-1)	1階食堂系統 空調室内機 (機械室 1P-C-2)	1階和室系統 空調室内外機 (屋外 宿泊棟S-1)	1階和室系統 空調室内外機 (屋外 宿泊棟S-1)	計器用電源
負荷記号	-	AC-3A・B	AC-3A'・B'	AC-8A	AC-8B	-
定格出力 (kW)	2.6	18.64	7.4	0.99 COMP: 0.9 OFAN: 0.04 IFAN: 0.05	0.99 COMP: 0.9 OFAN: 0.04 IFAN: 0.05	-
備考	既設機器	空調室外機更新 (今回工事対象)	空調室内機更新 (今回工事対象)	空調室内外機更新 (今回工事対象)	空調室内外機更新 (今回工事対象)	既設機器

分電盤改造内容

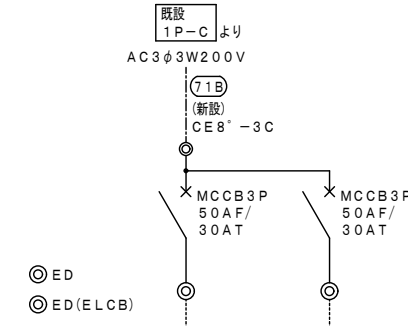
1 : 回路番号 (75A) のブレーカーの取替えを行う。

2 : 回路番号 (75B) のブレーカー・CTの取替えを行う。

その他: 今回工事で改修する空調機の機器番号に合わせて各ブレーカの負荷名称の変更を行う。(テブラ表示)

盤種類	動力分電盤
盤名称	1P-C-2
設置場所	宿泊棟 1階 機械室
キャビネット形式	屋内露出壁掛型 鋼板製

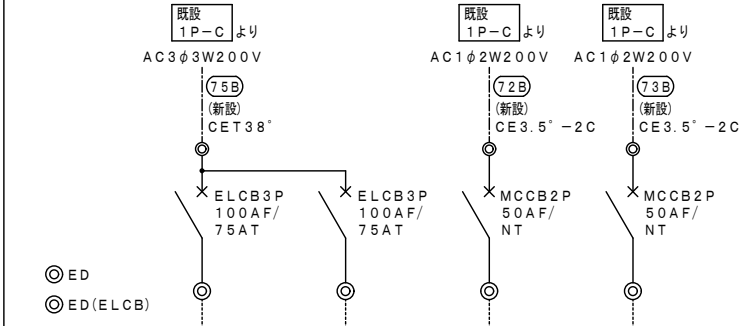
新設



回路番号	71B1	71B2
負荷名称	1階食堂系統 空調室内機	1階食堂系統 空調室内機
負荷記号	AC-3A'	AC-3B'
定格出力 (kW)	3.7 COMP: - OFAN: - IFAN: 3.7	3.7 COMP: - OFAN: - IFAN: 3.7
備考		

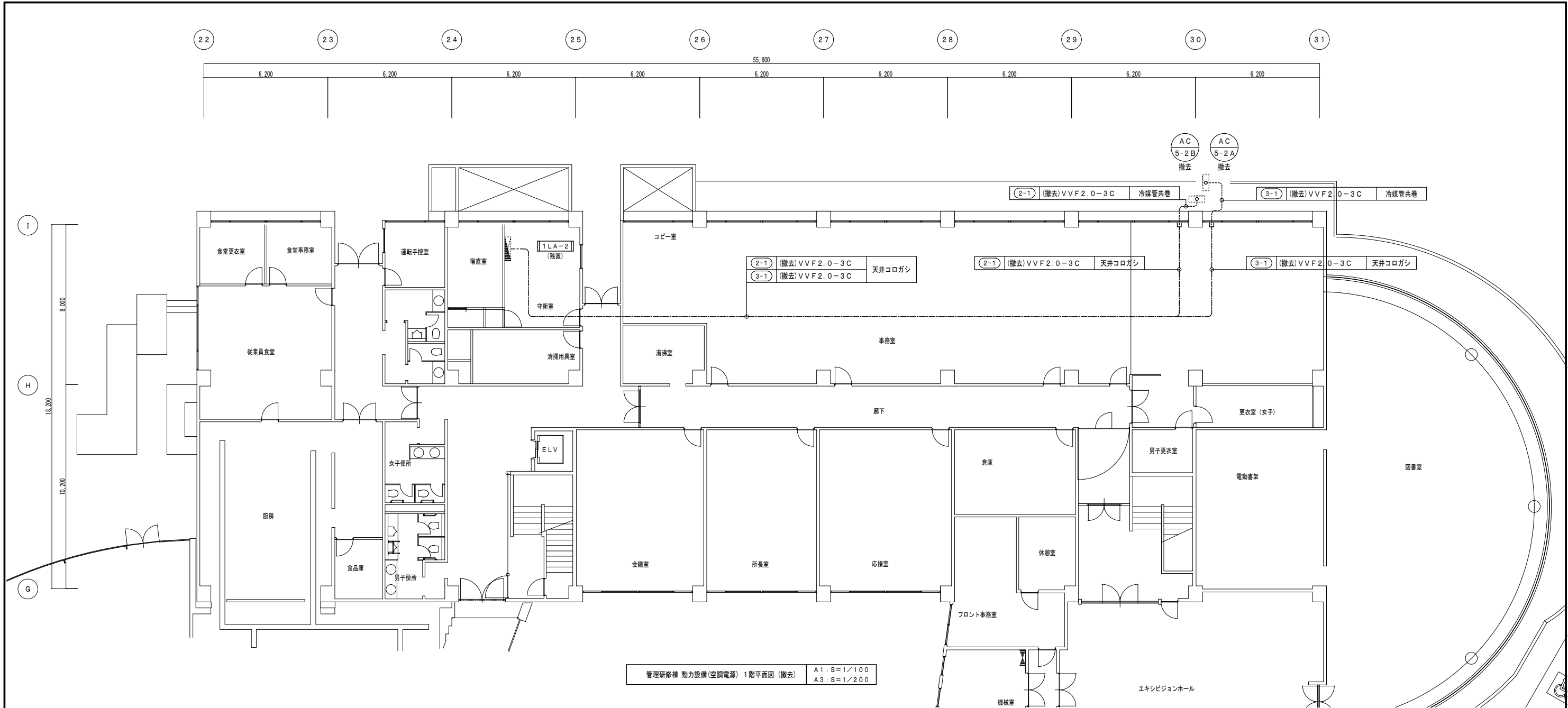
盤種類	手元開閉器盤
盤名称	宿泊棟S-1
設置場所	宿泊棟 1階 屋外
キャビネット形式	屋外防水壁掛型 SUS製

新設

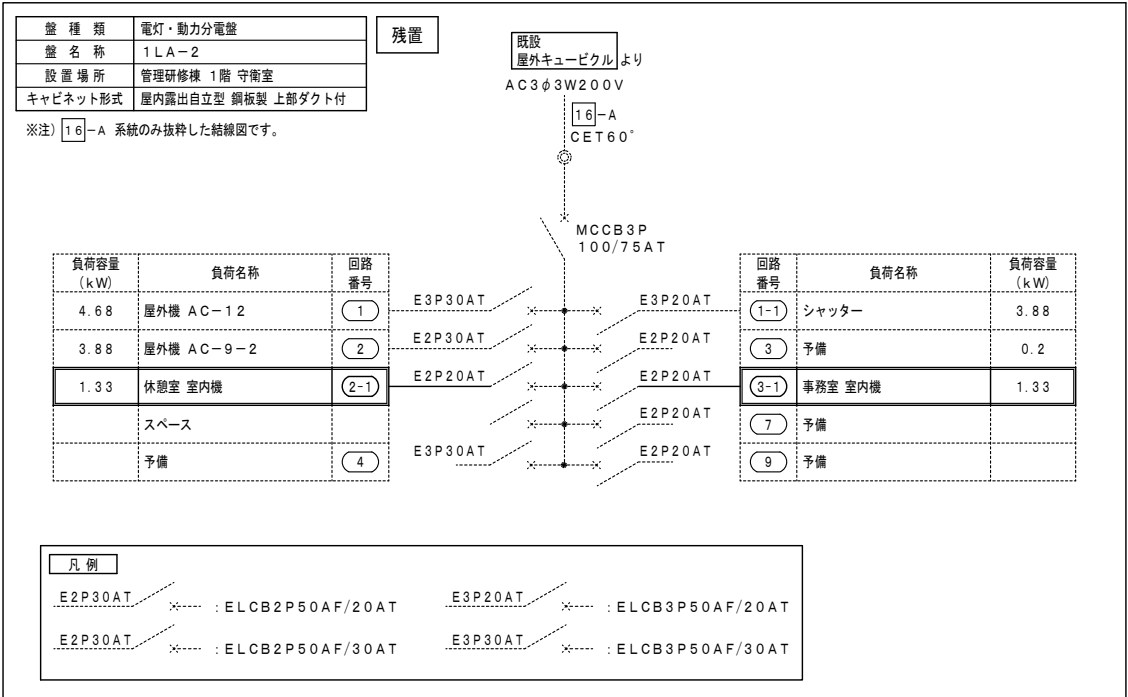


回路番号	75B1	75B2	72B	73B
負荷名称	1階食堂系統 空調室外機	1階食堂系統 空調室外機	1階和室系統 空調室内外機	1階和室系統 空調室内外機
負荷記号	AC-3A	AC-3B	AC-8A	AC-8B
定格出力 (kW)	9.32 COMP: 8.4 OFAN: 0.46×2 IFAN: -	9.32 COMP: 8.4 OFAN: 0.46×2 IFAN: -	0.99 COMP: 0.9 OFAN: 0.04 IFAN: 0.05	0.99 COMP: 0.9 OFAN: 0.04 IFAN: 0.05
備考				

受託者名	(株) 総合設備コンサルタント 九州事務所			図面 番号	E-04
業務完了年月日	令和2年	月	日	図面 名称	縮尺
管理技術者	技術者	製図		名称	-
				九州センター	令和 年 月



管理研修棟 動力設備(空調電源) 1階平面図 (撤去) A1:S=1/100 A3:S=1/200



記号	名称 : 仕様
	電灯動力分電盤 : 残置
	動力分電盤 : 残置
	A ブルボックス : 撤去 SS300×300×300 (鋼板製)
	B ブルボックス : 撤去 SS150×150×100 (鋼板製)
	ケーブルころがし配線
	露出配管配線

注記  
1. 図中、特記なき太線部分は全て撤去とし、薄点線部分は残置を示す。

受託者名	(株) 総合設備コンサルタント 九州事務所			図面番号	E-05
業務完了年月日	令和2年	月	日	図面名称	管理研修棟
管理技術者	技術者	製図		図面名称	動力設備(空調電源) 1階平面図 (撤去)
				縮尺	A1:S=1/100 A3:S=1/200
					九州センター 令和 年 月

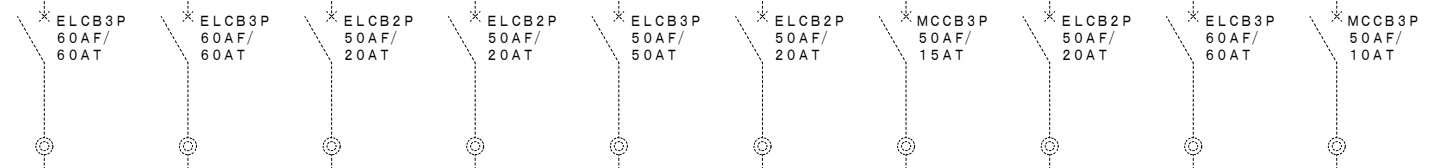


盤種類	動力分電盤
盤名称	1P-C
設置場所	宿泊棟 1階 機械室
キャビネット形式	屋内露出自立型 鋼板製 2面体

既設

既設  
屋外キュービクルより  
AC3φ3W200V

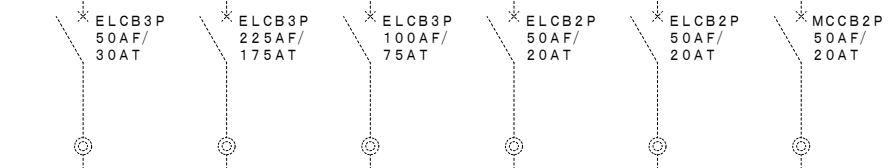
2  
CET200\*



左盤 ← → 右盤

既設  
屋外キュービクルより  
AC3φ3W200V

2  
CET200\*



回路番号	71A	72A	73A	74A	75A	76A	77A	79A	78A	76B
負荷名称	1階ラウンジ系統 空調室外機	1階ラウンジ系統 空調室外機	1階ラウンジ系統 空調室内機	1階ラウンジ系統 空調室内機	1階ビデオーム系統 空調室外機	1階ビデオーム系統 空調室内機	シャッター 売店	1階ラウンジ系統 空調室内機	1階ラウンジ系統 空調室外機	多回路エネルギー モニター
負荷記号	AC-1-2	AC-1-1	AC-1-1A	AC-1-2A	AC-7	AC-7A・B	-	AC-1-3A	AC-1-3	-
定格出力 (kW)	8.55 COMP: 8.2 OFAN: 0.35 IFAN: -	8.55 COMP: 8.2 OFAN: 0.35 IFAN: -	0.225 COMP: - OFAN: - IFAN: 0.075×3	0.225 COMP: - OFAN: - IFAN: 0.075×3	3.18 COMP: 2.8 OFAN: 0.35 IFAN: -	0.065 COMP: - OFAN: - IFAN: 0.015×2 +0.035	0.2	0.225 COMP: - OFAN: - IFAN: 0.075×3	8.55 COMP: 8.2 OFAN: 0.35 IFAN: -	-
備考										

回路番号	78AA	75B	71B	72B	73B	74B
負荷名称	全熱交換機	1階食堂系統 空調室外機	1階食堂系統 空調室内機	1階和室系統 空調室内機	1階和室系統 空調室内機	計器用電源
負荷記号	-	AC-3	AC-3	AC-8	AC-8	-
定格出力 (kW)	2.6	28.5 COMP: 8.2+5.3 OFAN: 8.2+5.3 IFAN: 0.38×4	11.0 COMP: - OFAN: - IFAN: 11.0	0.965 COMP: 0.9 OFAN: 0.03 IFAN: 0.035	0.965 COMP: 0.9 OFAN: 0.03 IFAN: 0.035	-
備考						

受託者名	(株) 総合設備コンサルタント 九州事務所			工事名	九州センター 空調設備更新工事	図面番号	E-07
業務完了年月日	令和2年 月 日			図面名称	宿泊棟 分電盤結線図 (既設)	縮尺	-
管理技術者	技術者	製図		名称	九州センター	令和	年 月